

第2章 調査結果

1 目黒区での居住

(1) 居住年数

問1 あなたは、目黒区に住んで何年になりますか。(あてはまるもの1つに○)

①全体

「40年以上」が25.7%で最も高く、「20年以上～30年未満(14.3%)」、「30年以上～40年未満(8.0%)」を合わせた『長期居住者』が48.0%を占めている。「5年以上～10年未満(12.6%)」と「10年以上～20年未満(18.1%)」を合わせた『中期居住者』は30.7%、「5年未満」の『短期居住者』は19.4%となっている。

長期居住者・短期居住者の推移をみると、短期居住者は平成29年の24%から令和2年の16%と減少しているものの、昭和61年以降は概ね2割前後で推移している。長期居住者は平成21年以降は4割台後半で横ばい状態である。

図1-1-1 居住年数(全体)

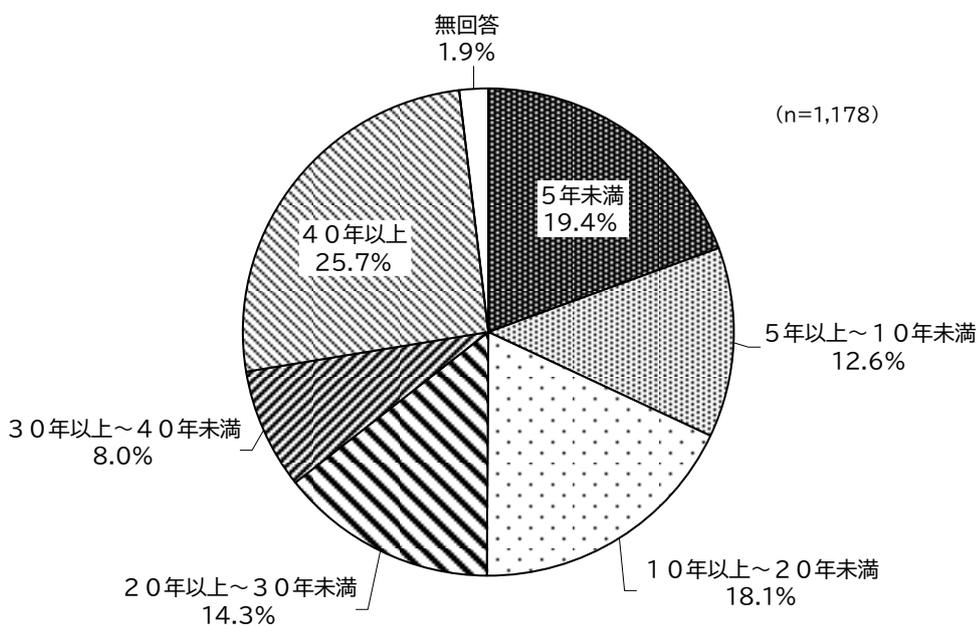
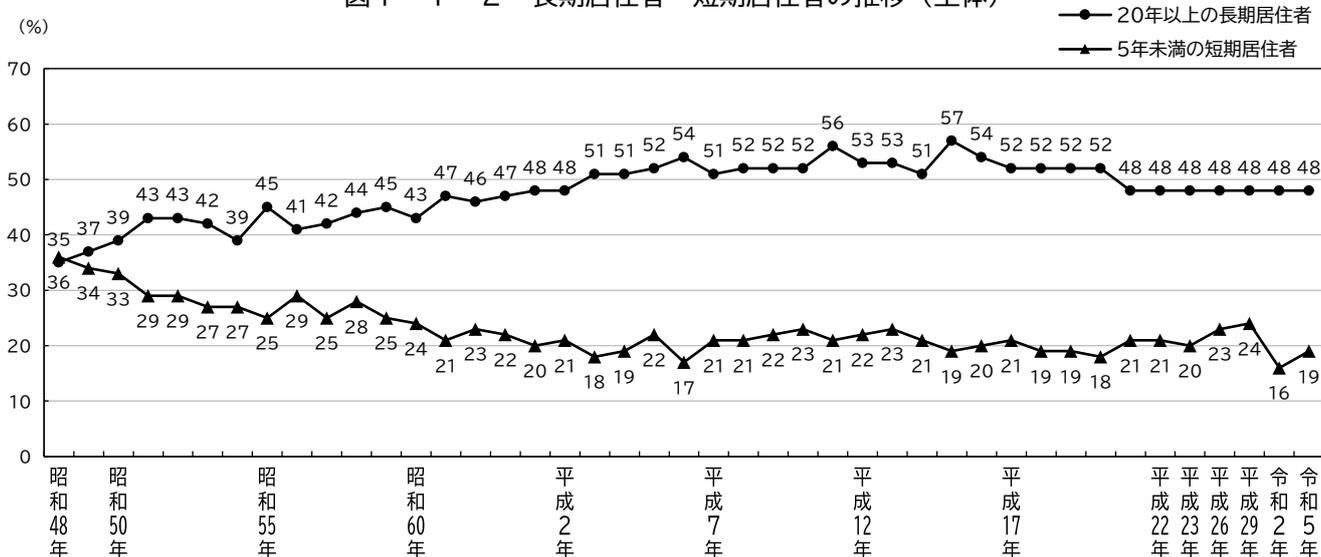


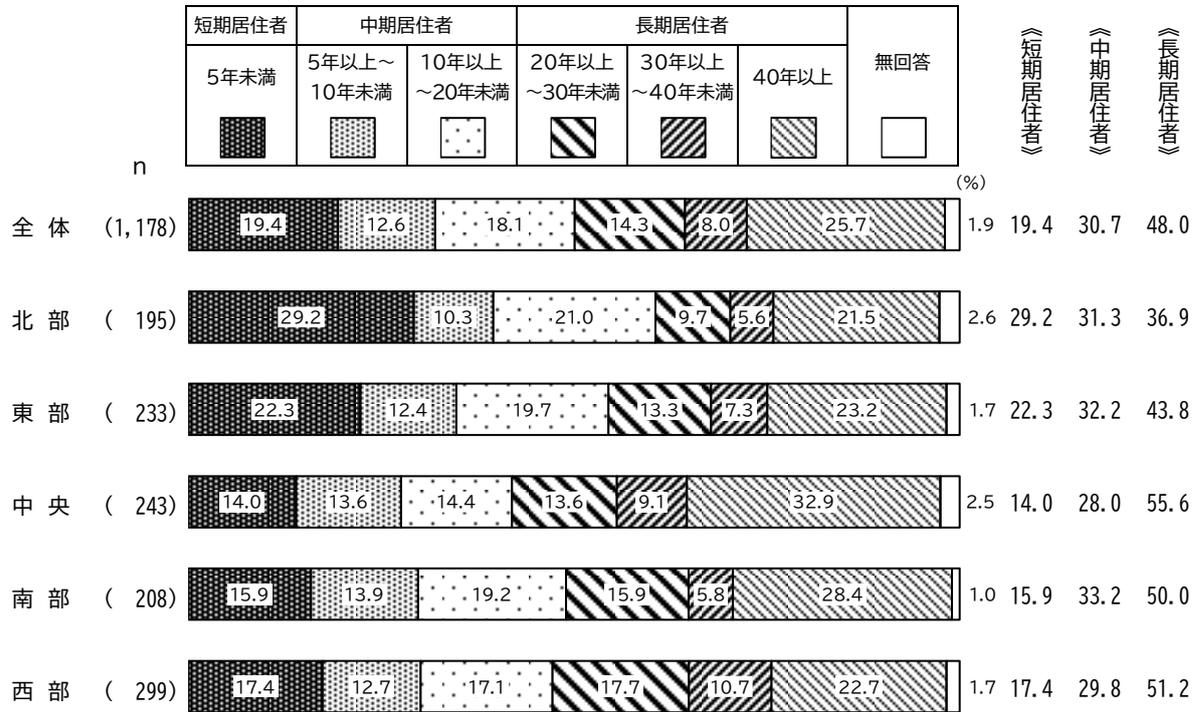
図1-1-2 長期居住者・短期居住者の推移(全体)



②地区別

『短期居住者』は北部地区（29.2%）、東部地区（22.3%）で高く、『長期居住者』は中央地区（55.6%）、西部地区（51.2%）、南部地区（50.0%）で高くなっている。

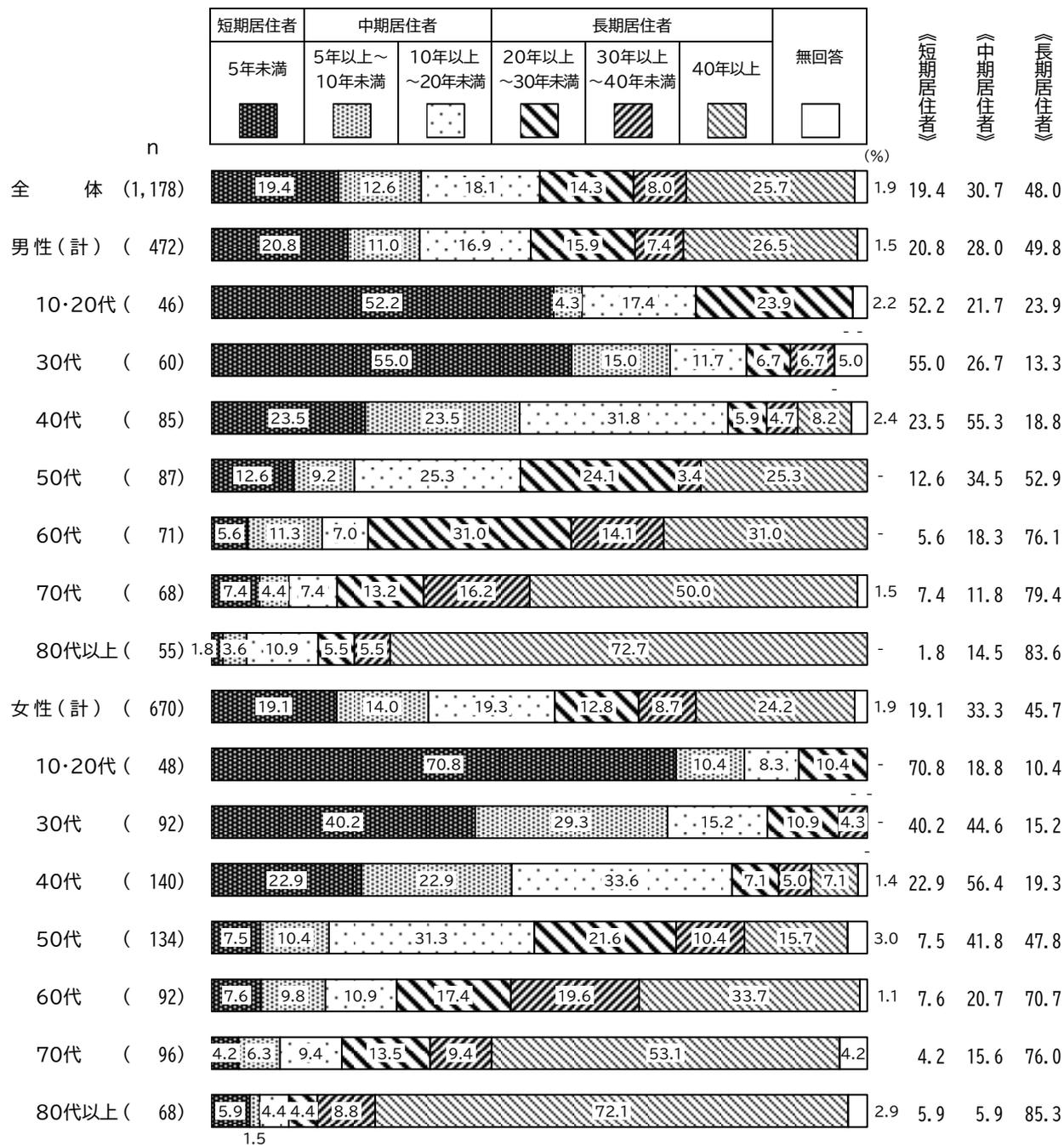
図1-1-3 居住年数（地区別）



③性・年代別

『短期居住者』は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、特に30代以下で高くなっている。『中期居住者』は男女とも40代が最も高く、5割を超えている。『長期居住者』は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、男女とも60～70代で7割台、80代以上で8割を超えている。

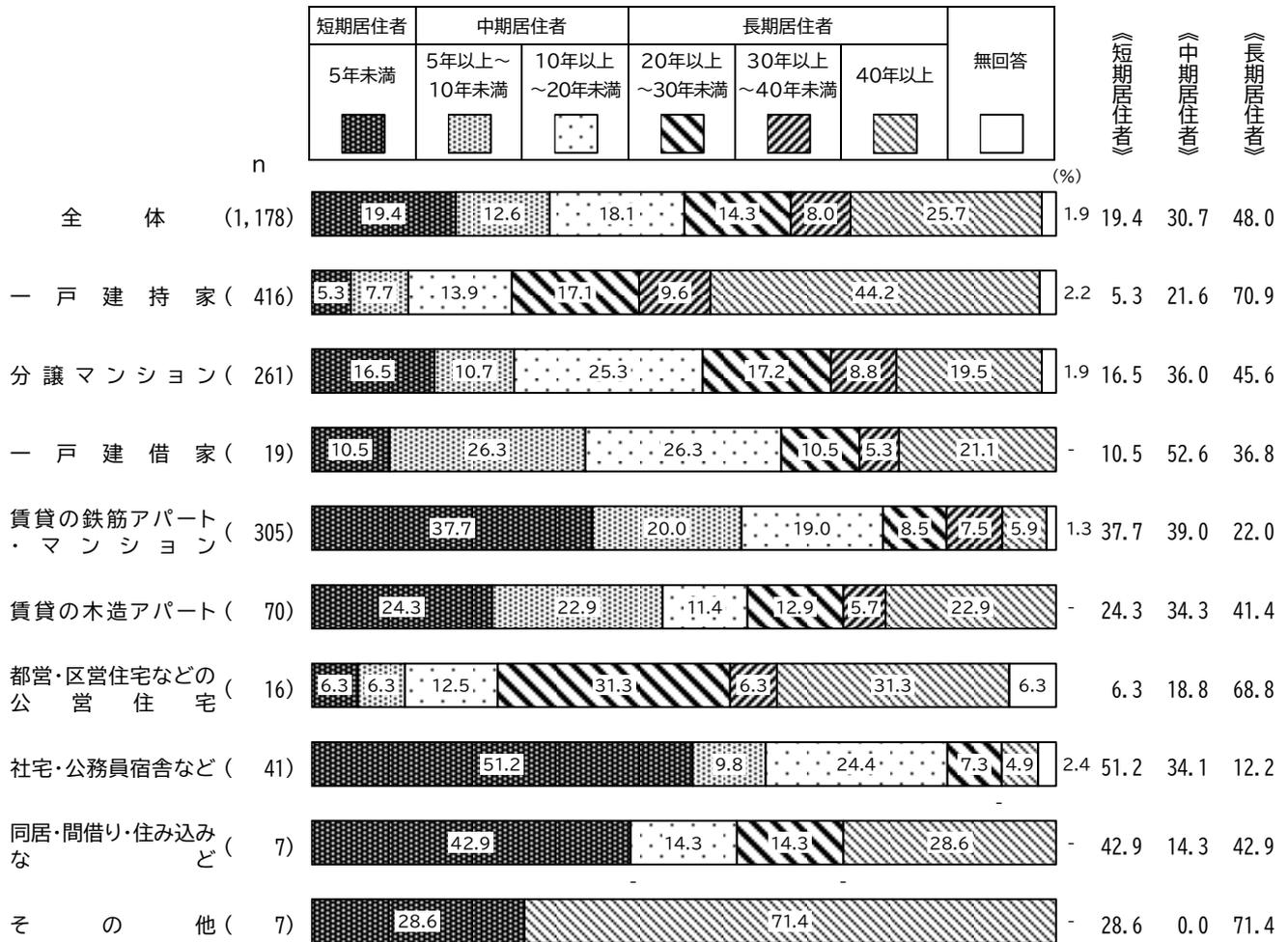
図1-1-4 居住年数（性・年代別）



④居住形態別

『短期居住者』は社宅・公務員宿舎など(51.2%)や賃貸の鉄筋アパート・マンション(37.7%)で高く、『長期居住者』は一戸建持家(70.9%)で高くなっている。

図1-1-5 居住年数(居住形態別)



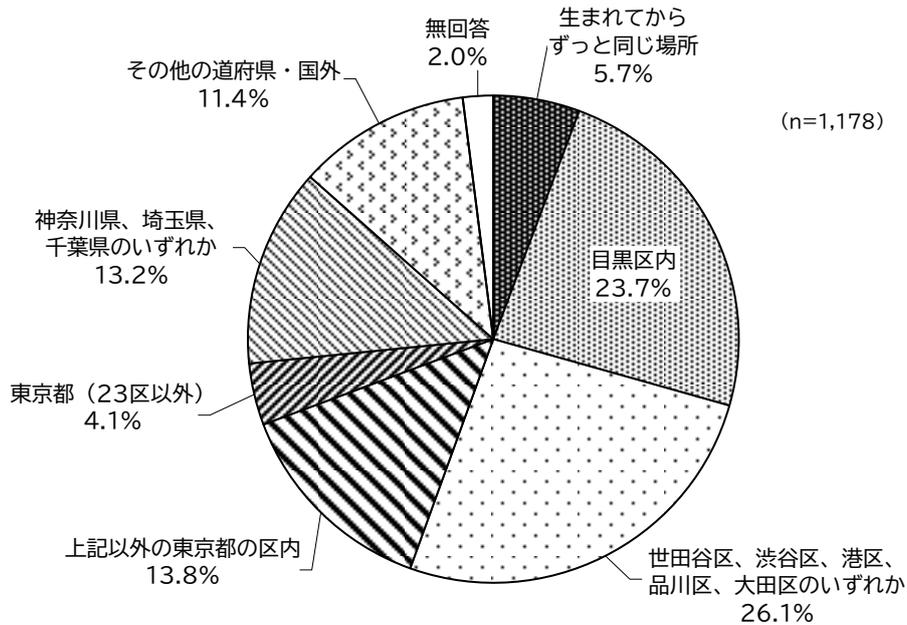
(2) 現住所直前の居住場所

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(あてはまるもの1つに○)

①全体

「世田谷区、渋谷区、港区、品川区、大田区のいずれか」が26.1%で最も高くなっている。「生まれてからずっと同じ場所(5.7%)」と「目黒区内(23.7%)」を合わせた『目黒区』は29.4%である。

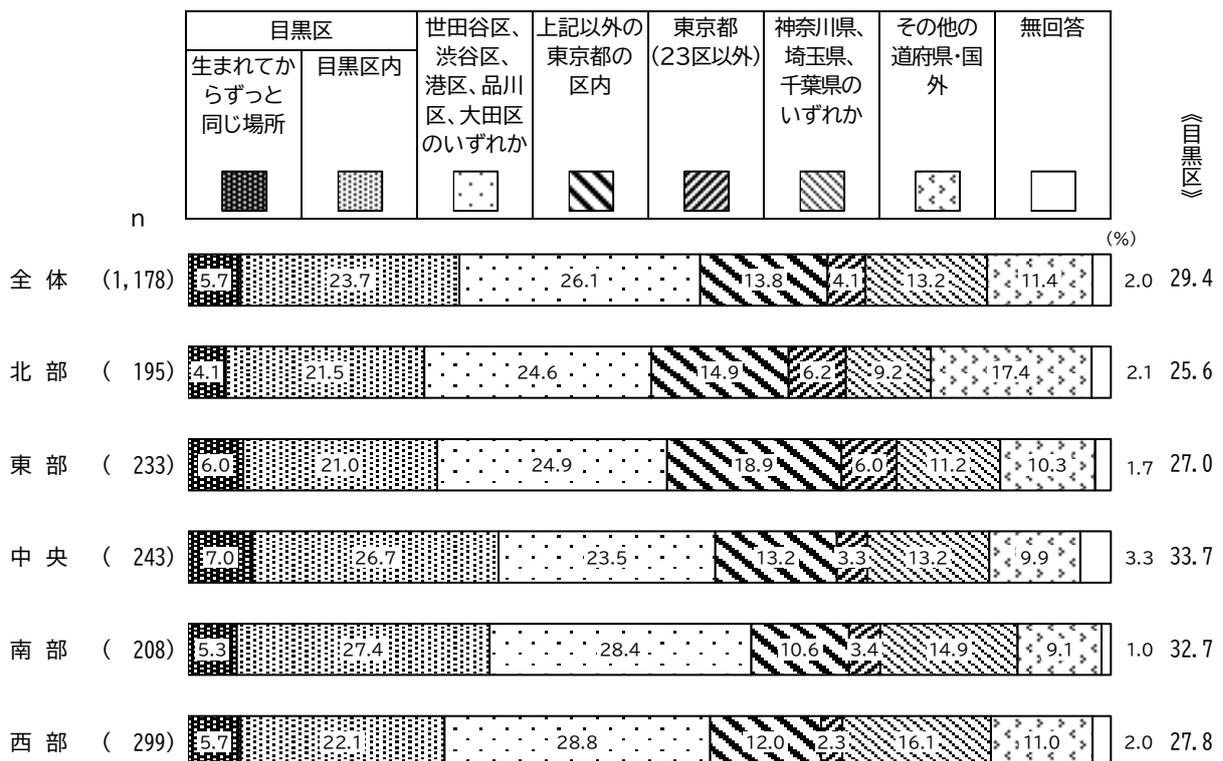
図1-2-1 現住所直前の居住場所(全体)



②地区別

『目黒区』は中央地区(33.7%)、南部地区(32.7%)で高くなっている。

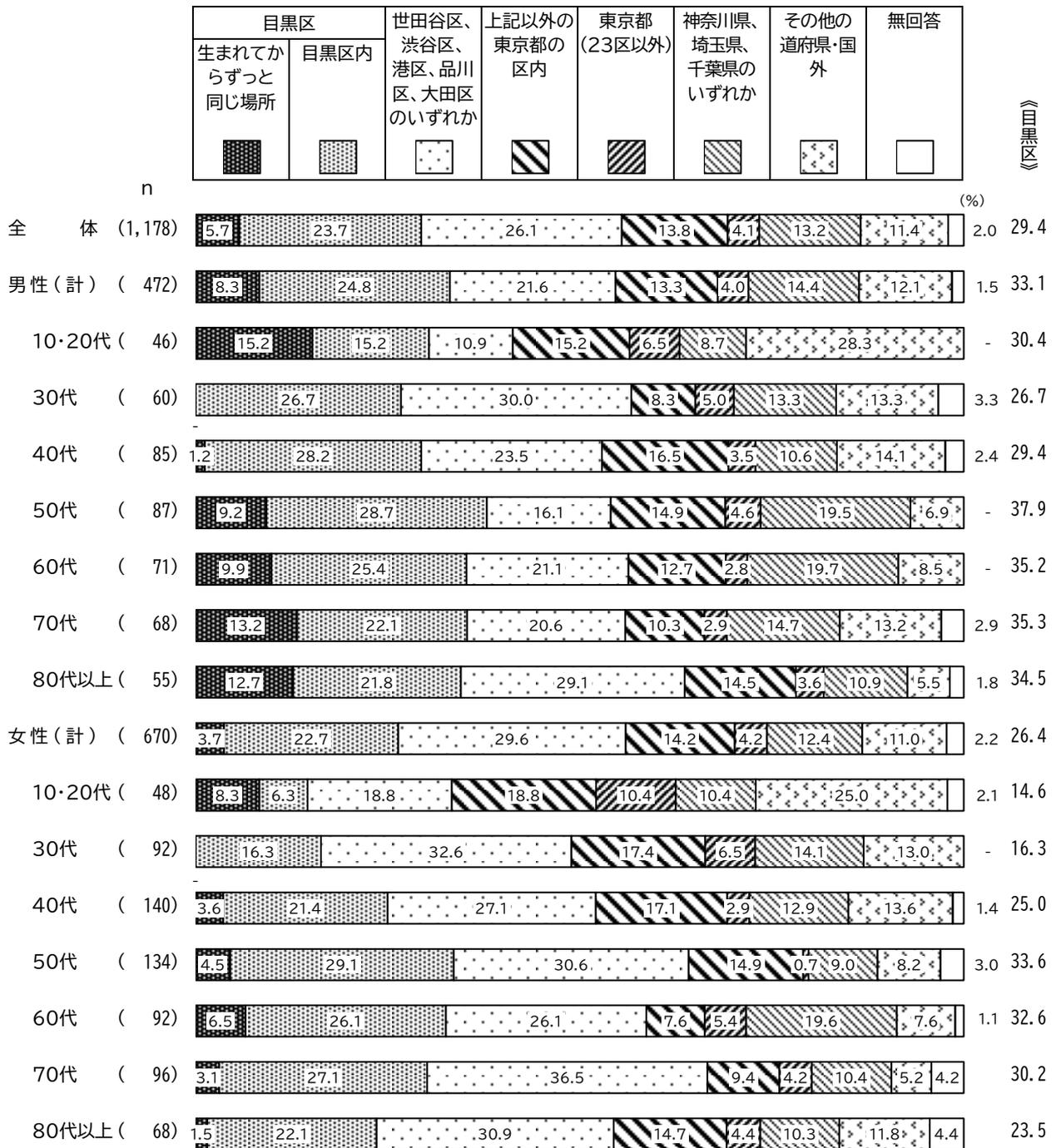
図1-2-2 現住所直前の居住場所(地区別)



③性・年代別

『目黒区』は男性の方が女性より高い傾向にあり、男性は30～40代（2割台後半）を除くすべての年代で3割台、女性は50～70代が3割台前半、その他の年代は1～2割台となっている。「その他の道府県・国外」は男女とも10・20代で2割台と高くなっている。

図1-2-3 現住所直前の居住場所（性・年代別）



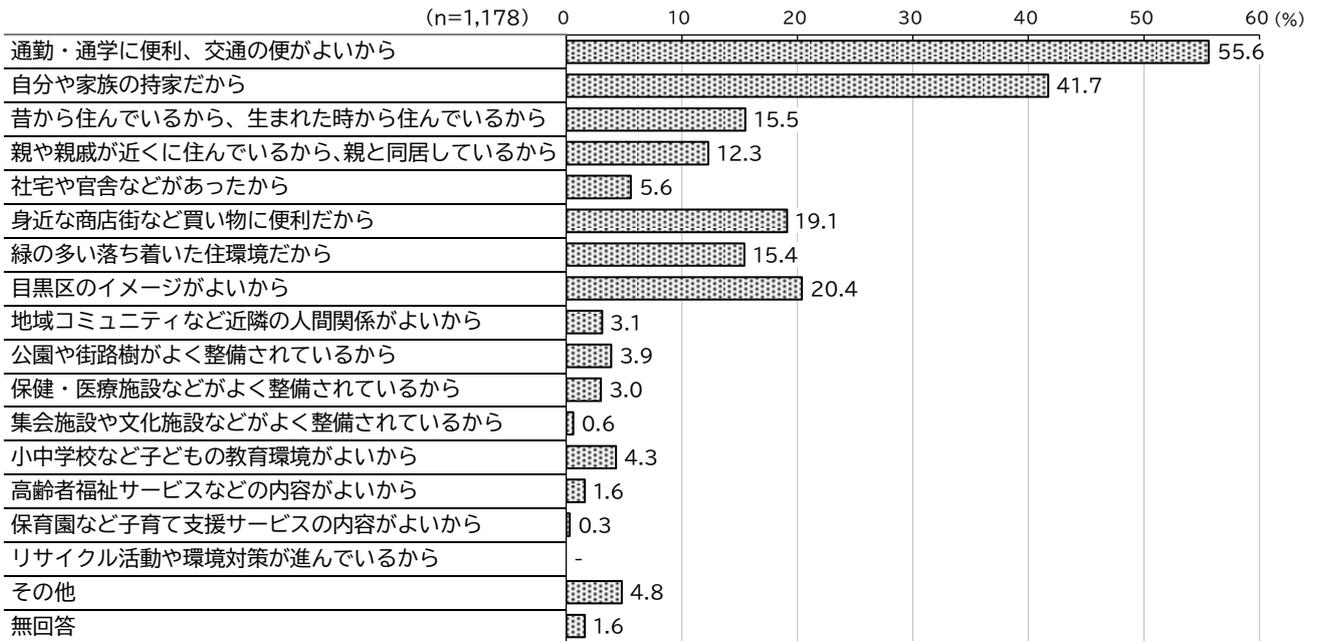
(3) 居住理由

問3 あなたが、目黒区に住んでいる理由は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

①全体

「通勤・通学に便利、交通の便がよいから」が55.6%で最も高く、次いで、「自分や家族の持家だから(41.7%)」となっている。

図1-3-1 居住理由(全体)



②地区別

「自分や家族の持家だから」は中央地区（48.1%）で、「目黒区のイメージがよいから」は東部地区（25.3%）で、「身近な商店街など買い物に便利だから」は南部地区（26.0%）、中央地区（24.3%）で、「緑の多い落ち着いた住環境だから」は西部地区（26.8%）で高くなっている。

表1-3-1 居住理由（地区別）

(%)

	n	通勤・通学に便利、交通の便がよいから	自分や家族の持家だから	昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから	親や親戚が近くに住んでいるから、親と同居しているから	社宅や官舎などがあったから	身近な商店街など買い物に便利だから	緑の多い落ち着いた住環境だから	目黒区のイメージがよいから	地域コミュニティなど近隣の人間関係がよいから
全体	1,178	55.6	41.7	15.5	12.3	5.6	19.1	15.4	20.4	3.1
北部	195	57.9	35.9	12.8	11.3	16.4	9.2	15.4	13.8	3.1
東部	233	56.7	38.6	16.3	11.6	5.6	20.6	13.3	25.3	2.6
中央	243	55.1	48.1	18.1	8.6	1.2	24.3	7.0	23.0	3.7
南部	208	53.8	44.2	18.3	16.3	2.9	26.0	11.5	20.2	3.8
西部	299	54.8	40.8	12.7	13.7	4.0	15.4	26.8	18.7	2.3

	n	公園や街路樹がよく整備されているから	保健・医療施設などがよく整備されているから	集会施設や文化施設などがよく整備されているから	小中学校など子どもの教育環境がよいから	高齢者福祉サービスなどの内容がよいから	保育園など子育て支援サービスの内容がよいから	リサイクル活動や環境対策が進んでいるから	その他	無回答
全体	1,178	3.9	3.0	0.6	4.3	1.6	0.3	-	4.8	1.6
北部	195	5.6	3.6	-	7.2	1.5	-	-	3.6	1.5
東部	233	1.3	3.4	0.4	2.1	1.3	0.4	-	3.4	2.6
中央	243	2.5	3.3	0.8	3.7	2.9	0.4	-	5.8	1.6
南部	208	3.4	1.4	1.0	2.4	1.4	-	-	6.7	1.4
西部	299	6.4	3.0	0.7	6.0	1.0	0.3	-	4.7	1.0

③性・年代別

「通勤・通学に便利、交通の便がよいから」は男性の40代以下、女性の50代以下で6～7割と高くなっている。「自分や家族の持家だから」は男性の50代以上、女性の60代以上で5割を超えている。「目黒区のイメージがよいから」は女性の30代以下で3割前後となっている。

表1-3-2 居住理由（性・年代別）

(%)

	n	通勤・通学に便利、交通の便がよいから	自分や家族の持家だから	昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから	親や親戚が近くに住んでいるから、親と同居しているから	社宅や官舎などがあったから	身近な商店街など買い物に便利だから	緑の多い落ち着いた住環境だから	目黒区のイメージがよいから	地域コミュニティなど近隣の人間関係がよいから
全体	1,178	55.6	41.7	15.5	12.3	5.6	19.1	15.4	20.4	3.1
男性計	472	56.6	44.7	18.0	14.0	7.2	17.6	13.6	18.0	2.3
10・20代	46	63.0	34.8	17.4	15.2	19.6	13.0	-	21.7	2.2
30代	60	73.3	20.0	10.0	23.3	6.7	23.3	16.7	23.3	1.7
40代	85	69.4	31.8	12.9	9.4	14.1	16.5	17.6	23.5	5.9
50代	87	52.9	51.7	18.4	25.3	3.4	12.6	14.9	16.1	3.4
60代	71	49.3	50.7	18.3	8.5	5.6	18.3	19.7	15.5	-
70代	68	45.6	57.4	27.9	11.8	1.5	20.6	8.8	10.3	1.5
80代以上	55	41.8	65.5	21.8	1.8	1.8	20.0	10.9	16.4	-
女性計	670	55.5	39.7	13.3	11.2	4.8	20.1	16.3	22.2	3.7
10・20代	48	68.8	18.8	12.5	6.3	16.7	18.8	14.6	29.2	-
30代	92	65.2	22.8	13.0	15.2	7.6	21.7	12.0	30.4	4.3
40代	140	72.1	30.0	9.3	7.1	5.0	20.0	17.9	26.4	5.7
50代	134	61.9	41.0	15.7	13.4	6.0	19.4	16.4	19.4	5.2
60代	92	54.3	53.3	13.0	19.6	-	19.6	23.9	15.2	2.2
70代	96	36.5	54.2	15.6	7.3	1.0	20.8	13.5	21.9	2.1
80代以上	68	14.7	55.9	14.7	7.4	1.5	20.6	13.2	13.2	2.9
	n	公園や街路樹がよく整備されているから	保健・医療施設などがよく整備されているから	集会施設や文化施設などがよく整備されているから	小中学校など子どもの教育環境がよいから	高齢者福祉サービスなどの内容がよいから	保育園など子育て支援サービスの内容がよいから	リサイクル活動や環境対策が進んでいるから	その他	無回答
全体	1,178	3.9	3.0	0.6	4.3	1.6	0.3	-	4.8	1.6
男性計	472	4.7	2.8	0.6	4.2	1.3	0.4	-	4.2	1.5
10・20代	46	2.2	-	2.2	-	-	-	-	-	-
30代	60	3.3	-	-	3.3	-	1.7	-	5.0	-
40代	85	4.7	-	-	8.2	-	-	-	2.4	-
50代	87	5.7	-	-	4.6	-	-	-	3.4	1.1
60代	71	8.5	2.8	-	-	-	-	-	4.2	2.8
70代	68	1.5	5.9	1.5	2.9	4.4	-	-	4.4	2.9
80代以上	55	5.5	12.7	1.8	9.1	5.5	1.8	-	10.9	3.6
女性計	670	3.6	3.3	0.6	4.5	1.8	0.1	-	5.5	1.6
10・20代	48	2.1	-	2.1	-	-	-	-	2.1	-
30代	92	1.1	1.1	-	5.4	-	-	-	7.6	2.2
40代	140	3.6	1.4	-	9.3	-	-	-	7.9	-
50代	134	5.2	1.5	1.5	5.2	-	-	-	6.0	-
60代	92	3.3	3.3	-	2.2	1.1	-	-	1.1	-
70代	96	2.1	6.3	1.0	1.0	7.3	1.0	-	6.3	5.2
80代以上	68	7.4	11.8	-	2.9	5.9	-	-	4.4	5.9

④居住形態別

「通勤・通学に便利、交通の便がよいから」は賃貸の鉄筋アパート・マンションと賃貸の木造アパートで7割台、分譲マンションで6割台と高くなっている。「自分や家族の持家だから」は一戸建持家（78.4%）が最も高くなっている。

表1-3-3 居住理由（居住形態別）

		(%)									
	n	通勤・通学に便利、交通の便がよいから	自分や家族の持家だから	昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから	親や親戚が近くに住んでいるから、親と同居しているから	社宅や官舎などがあったから	身近な商店街など買い物に便利だから	緑の多い落ち着いた住環境だから	目黒区のイメージがよいから	地域コミュニティなど近隣の人間関係がよいから	
全体	1,178	55.6	41.7	15.5	12.3	5.6	19.1	15.4	20.4	3.1	
一戸建持家	416	38.7	78.4	25.2	12.3	1.2	11.8	12.5	12.0	1.7	
分譲マンション	261	60.9	49.0	9.6	14.6	3.8	20.7	15.7	23.4	1.9	
一戸建借家	19	63.2	15.8	36.8	15.8	-	5.3	10.5	15.8	-	
賃貸の鉄筋アパート・マンション	305	75.7	3.6	7.2	10.5	3.6	28.9	21.0	33.1	6.2	
賃貸の木造アパート	70	70.0	5.7	12.9	14.3	4.3	34.3	12.9	24.3	5.7	
都営・区営住宅などの公営住宅	16	37.5	6.3	6.3	-	-	-	6.3	6.3	-	
社宅・公務員宿舎など	41	46.3	2.4	2.4	12.2	85.4	2.4	12.2	4.9	2.4	
同居・間借り・住み込みなど	7	28.6	42.9	14.3	28.6	-	-	-	-	-	
その他	7	14.3	28.6	42.9	-	28.6	14.3	14.3	-	-	
	n	公園や街路樹がよく整備されているから	保健・医療施設などがよく整備されているから	集会施設や文化施設などがよく整備されているから	小中学校など子どももの教育環境がよいから	高齢者福祉サービスなどの内容がよいから	保育園など子育て支援サービスの内容がよいから	リサイクル活動や環境対策が進んでいるから	その他	無回答	
全体	1,178	3.9	3.0	0.6	4.3	1.6	0.3	-	4.8	1.6	
一戸建持家	416	2.9	3.1	0.5	3.1	1.7	0.5	-	2.4	1.7	
分譲マンション	261	5.0	5.0	0.8	5.0	1.9	0.4	-	3.8	2.7	
一戸建借家	19	5.3	-	-	26.3	-	-	-	5.3	-	
賃貸の鉄筋アパート・マンション	305	4.6	2.0	0.7	4.6	0.3	-	-	8.5	0.3	
賃貸の木造アパート	70	4.3	1.4	1.4	1.4	2.9	-	-	7.1	-	
都営・区営住宅などの公営住宅	16	12.5	6.3	-	6.3	25.0	-	-	12.5	18.8	
社宅・公務員宿舎など	41	2.4	-	-	7.3	-	-	-	2.4	-	
同居・間借り・住み込みなど	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	7	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-	

⑤居住年数別

「通勤・通学に便利、交通の便がよいから」は居住年数が20年未満で6割を超えている。「目黒区のイメージがよいから」は5年未満（33.3%）が最も高く、次いで5年以上～10年未満（26.8%）が高い。「身近な商店街など買い物に便利だから」は5年以上～10年未満（24.8%）が最も高く、次いで10年以上～20年未満（22.5%）が高い。居住年数40年以上は「自分や家族の持家だから」（68.0%）や「昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから」（40.3%）が高くなっている。

表1-3-4 居住理由（居住年数別）

(%)

	n	通勤・通学に便利、交通の便がよいから	自分や家族の持家だから	昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから	親や親戚が近くに住んでいるから、親と同居しているから	社宅や官舎などがあったから	身近な商店街など買い物に便利だから	緑の多い落ち着いた住環境だから	目黒区のイメージがよいから	地域コミュニティなど近隣の間関係がよいから
全体	1,178	55.6	41.7	15.5	12.3	5.6	19.1	15.4	20.4	3.1
5年未満	228	64.9	13.6	0.4	8.3	11.8	19.7	15.4	33.3	2.6
5年以上～10年未満	149	71.1	23.5	2.0	14.1	5.4	24.8	17.4	26.8	7.4
10年以上～20年未満	213	66.7	37.6	7.0	10.3	7.5	22.5	17.8	22.1	4.2
20年以上～30年未満	169	58.6	50.3	10.7	11.2	3.6	15.4	18.9	13.6	1.8
30年以上～40年未満	94	50.0	45.7	22.3	23.4	4.3	20.2	14.9	12.8	2.1
40年以上	303	34.0	68.0	40.3	12.9	0.7	14.9	10.9	12.9	1.7

	n	公園や街路樹がよく整備されているから	保健・医療施設などがよく整備されているから	集会施設や文化施設などがよく整備されているから	小中学校など子ども教育の環境がよいから	高齢者福祉サービスなどの内容がよいから	保育園など子育て支援サービスの内容がよいから	リサイクル活動や環境対策が進んでいるから	その他	無回答
全体	1,178	3.9	3.0	0.6	4.3	1.6	0.3	-	4.8	1.6
5年未満	228	3.5	1.8	0.9	4.4	0.4	0.4	-	7.9	-
5年以上～10年未満	149	4.0	-	-	6.0	0.7	-	-	4.0	3.4
10年以上～20年未満	213	4.7	0.9	-	7.0	0.5	-	-	6.1	0.9
20年以上～30年未満	169	6.5	2.4	1.2	1.8	0.6	-	-	4.7	1.8
30年以上～40年未満	94	6.4	7.4	-	4.3	3.2	-	-	3.2	2.1
40年以上	303	1.7	5.0	0.7	2.6	3.6	0.7	-	2.3	2.3

(4) 定住・転出意向

問4 あなたは、目黒区に今後も住みたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

①全体

「ずっと住んでいたい」が49.1%で最も高く、「当分の間は住んでいたい(46.5%)」を合わせた『定住意向』は95.6%を占める。

定住・転出意向の推移をみると、『定住意向』は平成9年以降、95%前後であり、『転出意向』は平成10年以降、5%以下となっている。

図1-4-1 定住・転出意向(全体)

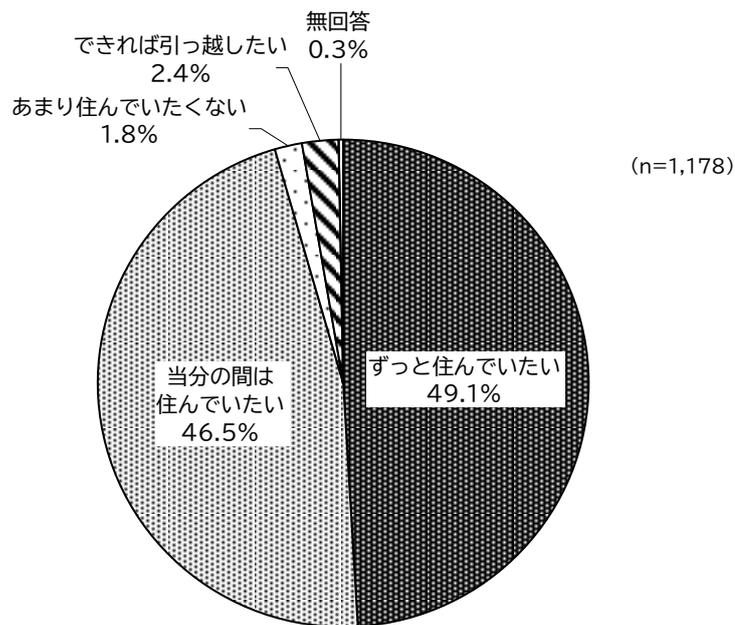
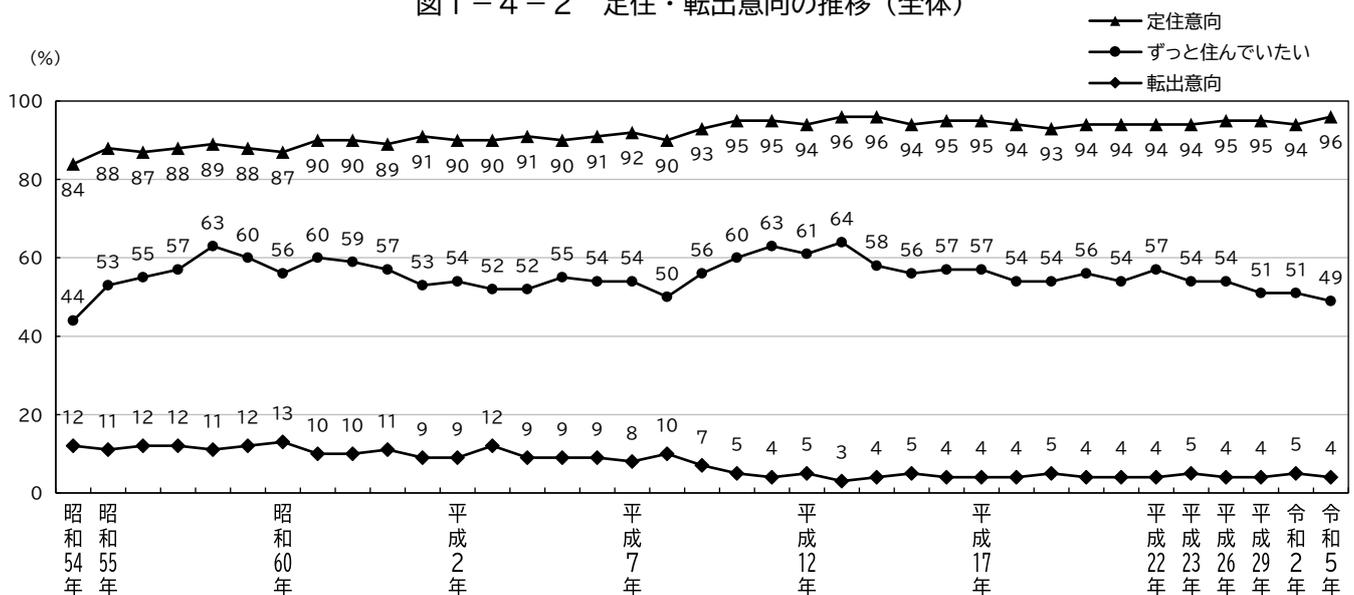


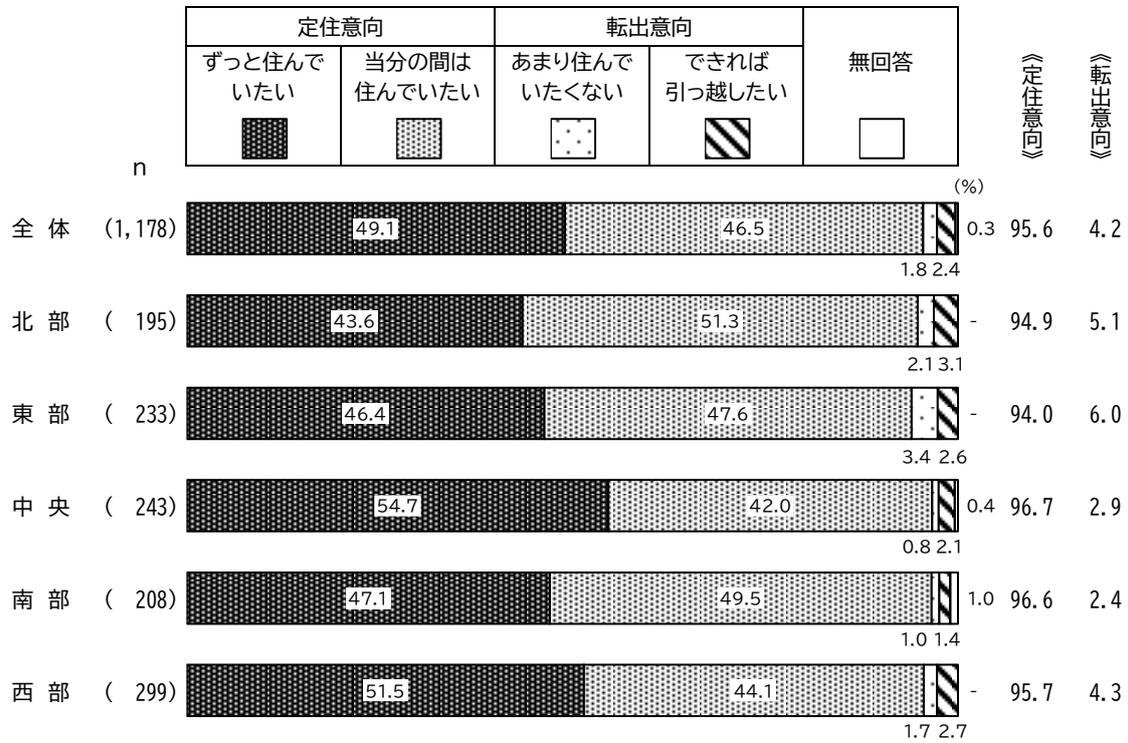
図1-4-2 定住・転出意向の推移(全体)



②地区別

すべての地区で『定住意向』が9割を超えている。「ずっと住んでいたい」は中央地区(54.7%)、西部地区(51.5%)で高くなっている。

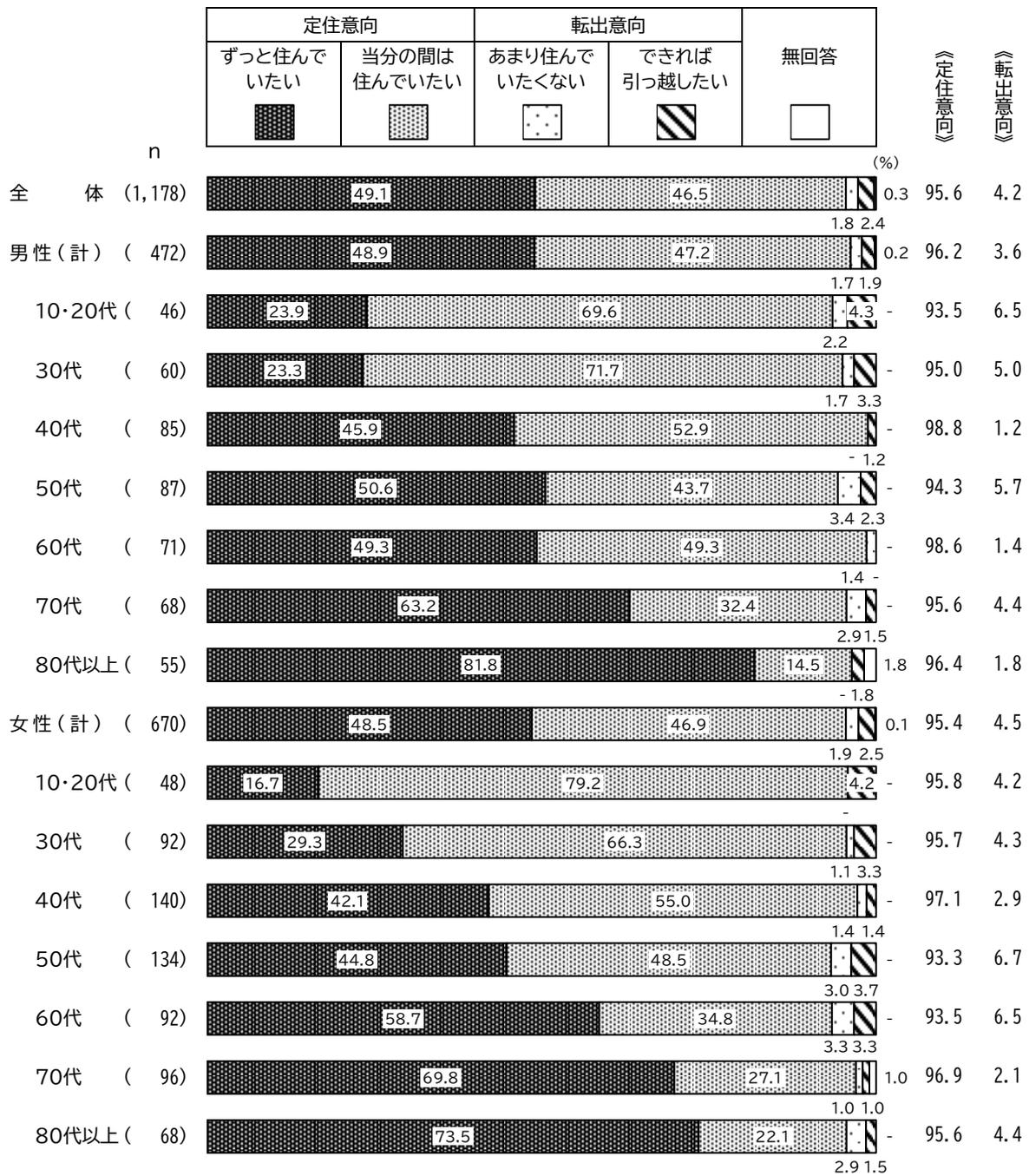
図1-4-3 定住・転出意向(地区別)



③性・年代別

すべての性・年代で『定住意向』が9割を超えている。「ずっと住んでいたい」は男女ともに高い年代ほど割合が高い傾向にある。

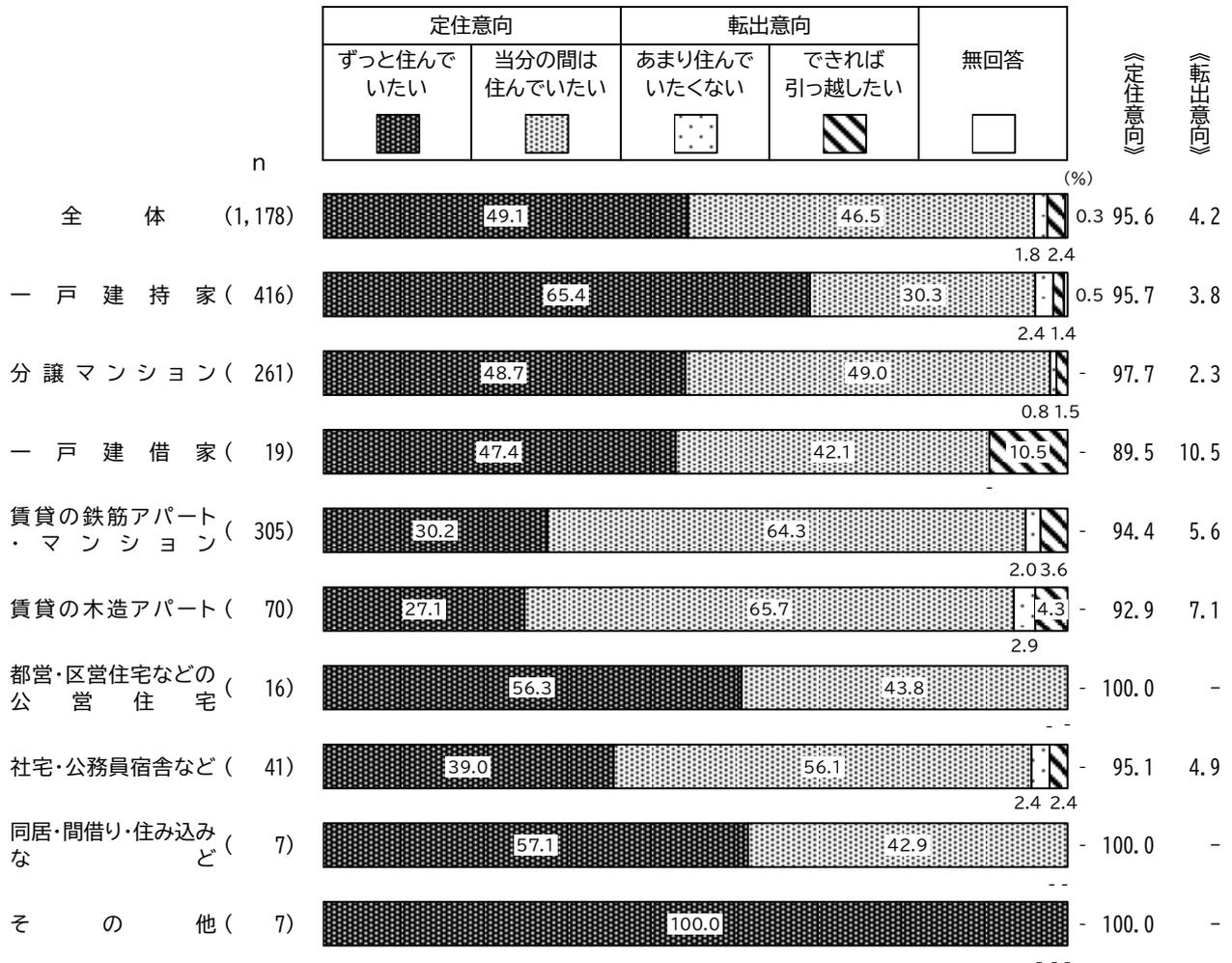
図1-4-4 定住・転出意向（性・年代別）



④居住形態別

「ずっと住んでいたい」は一戸建持家（65.4%）で高くなっている。

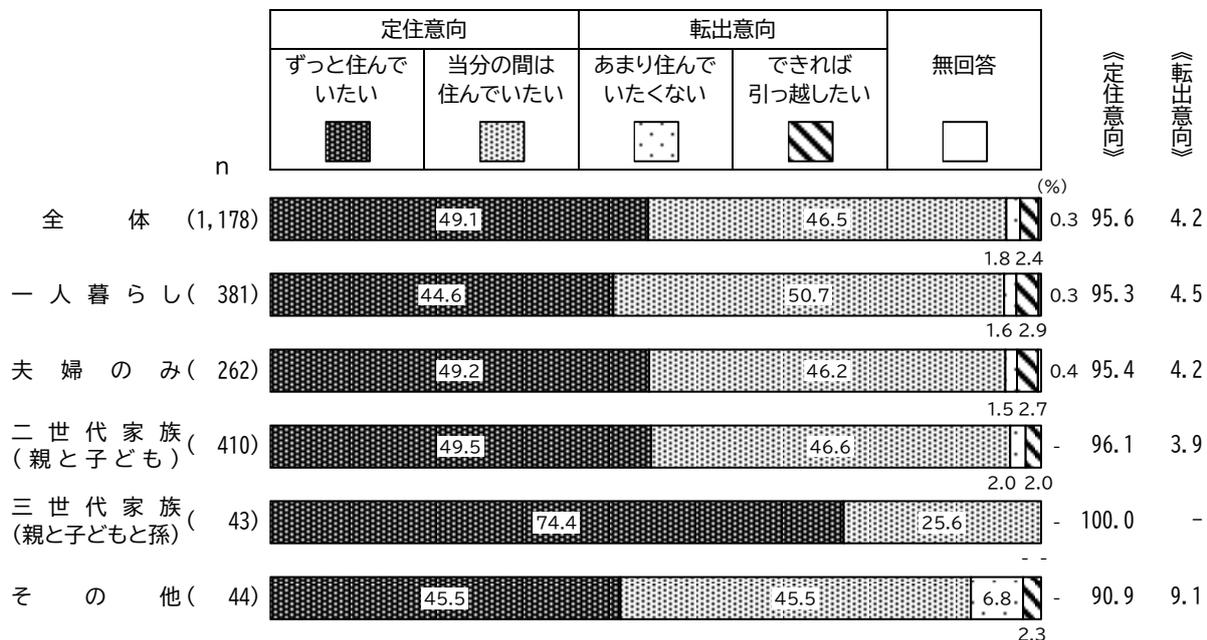
図1-4-5 定住・転出意向（居住形態別）



⑤世帯構成別

『定住意向』はすべての世帯構成で9割を超えている。「ずっと住んでいたい」は三世帯家族(74.4%)で高くなっている。

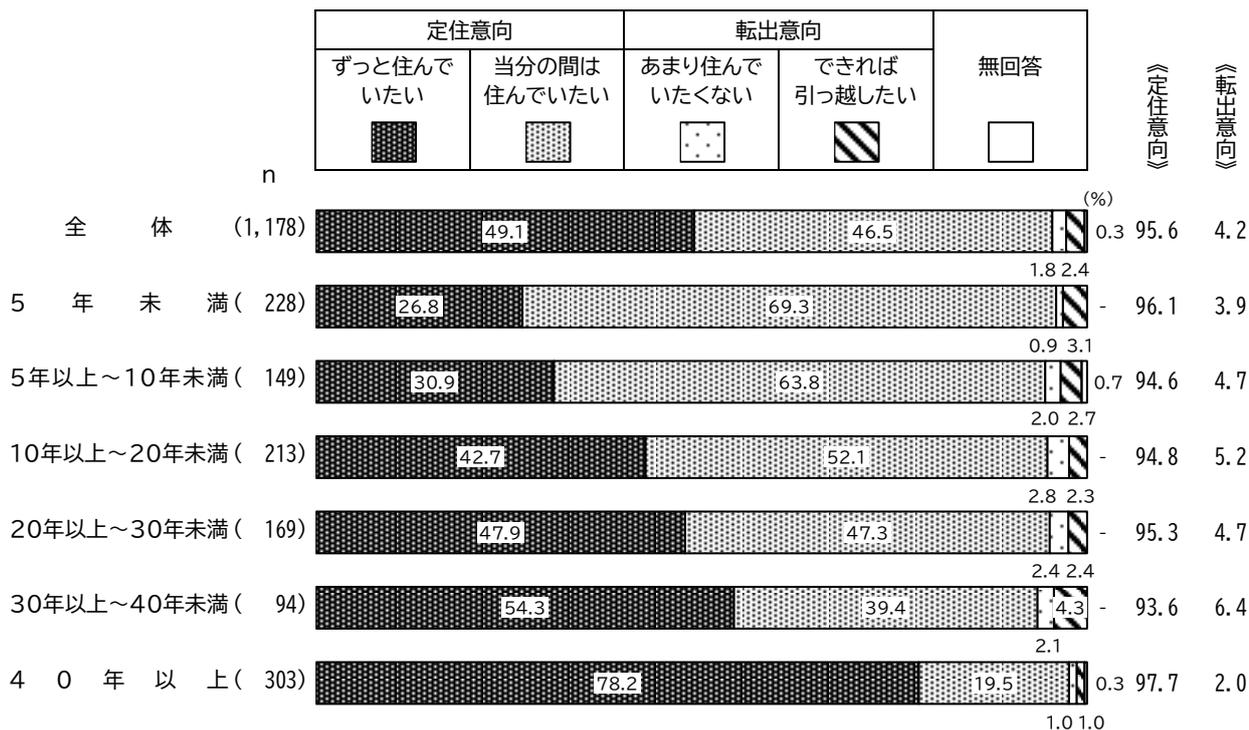
図1-4-6 定住・転出意向(世帯構成別)



⑥居住年数別

『定住意向』はすべての居住年数で9割を超えている。「ずっと住んでいたい」は居住年数が長いほど割合が高い傾向にある。

図1-4-7 定住・転出意向(居住年数別)



(5) 転出意向理由

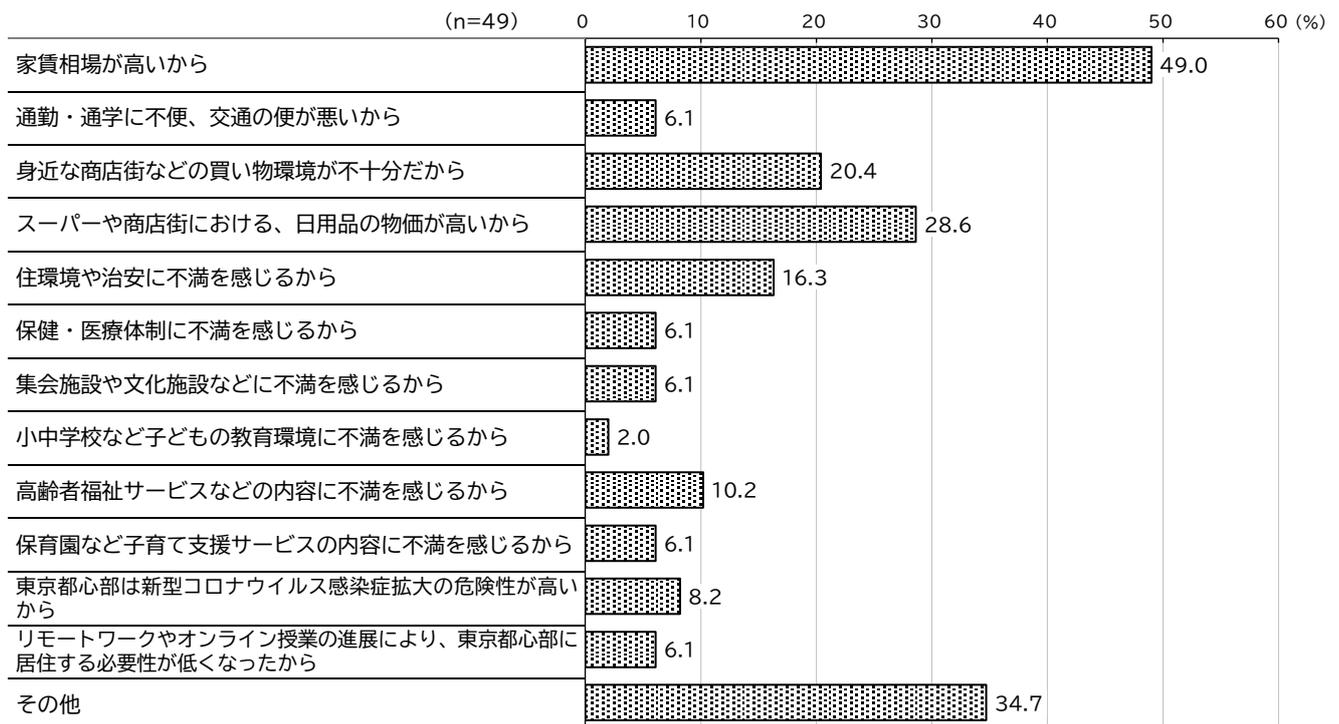
(問4で「あまり住んでたくない」「できれば引っ越したい」のいずれかに回答した方にお尋ねします。)

問4-1 あまり住んでたくない・できれば引っ越したいと思うのは、主にどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

①全体

「家賃相場が高いから」が49.0%で最も高く、次いで、「その他(34.7%)」、「スーパーや商店街における、日用品の物価が高いから(28.6%)」となっている。

図1-5-1 転出意向理由(全体)



その他の内容(一部抜粋、編集)

近所の人とのつながりが難しい／区税・都民税が高い／上下水道のインフラ整備が遅れている／生活が苦しい／高齢者には住みにくい／人が多い／他の場所にも住んでみたい／緑の多い田舎に移住したい／役所が遠い

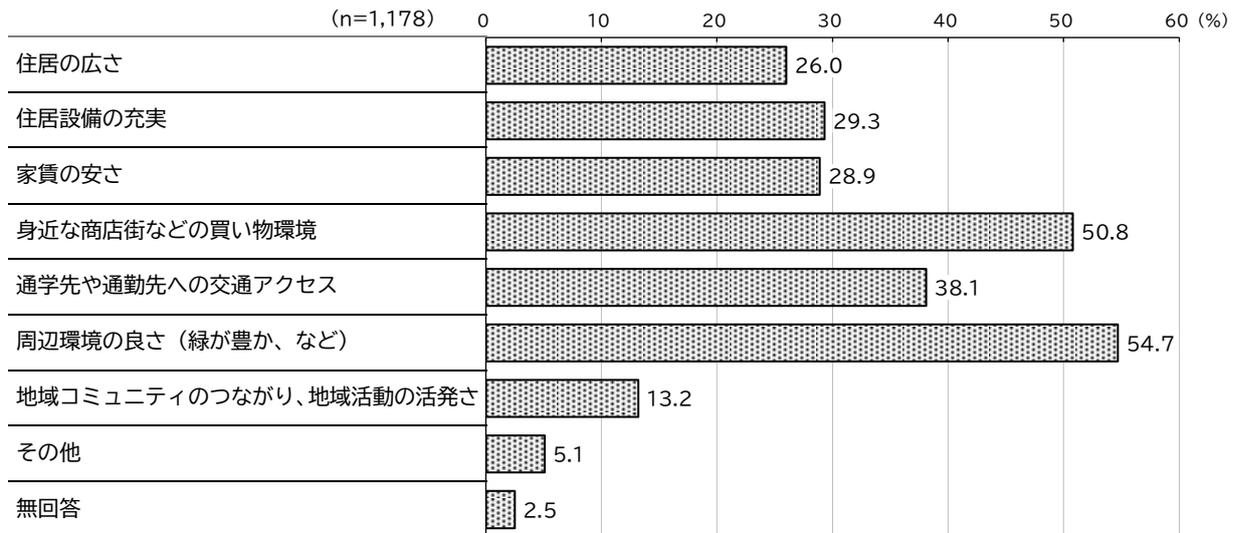
(6) 今後の住環境で重視すること

問5 今後の住環境においては、どのようなことが重要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

①全体

「周辺環境の良さ（緑が豊か、など）」が54.7%で最も高く、次いで、「身近な商店街などの買い物環境（50.8%）」、「通学先や通勤先への交通アクセス（38.1%）」となっている。

図1-6-1 今後の住環境で重視すること（全体）



②地区別

「周辺環境の良さ」は北部地区（59.0%）、西部地区（58.9%）で高く、「身近な商店街などの買い物環境」は南部地区（59.6%）で高くなっている。

表1-6-1 今後の住環境で重視すること（地区別）

	n	住居の広さ	住居設備の充実	家賃の安さ	身近な商店街などの買い物環境	通学先や通勤先への交通アクセス	周辺環境の良さ（緑が豊か、など）	地域コミュニティのつながり、地域活動の活発さ	その他	無回答
全体	1,178	26.0	29.3	28.9	50.8	38.1	54.7	13.2	5.1	2.5
北部	195	26.2	26.7	33.3	48.7	41.0	59.0	10.8	6.7	-
東部	233	28.3	33.9	27.5	43.8	37.8	48.9	12.4	4.3	4.3
中央	243	23.9	28.8	28.8	51.9	38.3	53.9	12.8	6.2	2.9
南部	208	25.5	24.0	27.4	59.6	37.0	51.9	16.3	4.8	2.9
西部	299	26.1	31.4	28.4	50.8	37.1	58.9	13.4	4.0	2.3

③性・年代別

「周辺環境の良さ」は男性の50代と70代以上、女性の60～70代で6割を超え、「身近な商店街などの買い物環境」は男性の50代以上、女性の30～60代で5割を超えている。「通学先や通勤先への交通アクセス」は男性の40代以下、女性の30代以下で5割を超え、「家賃の安さ」は男性の30代以下、女性の10・20代で4割を超えている。「住居の広さ」は男女とも30～40代が3割を超えて高くなっている。

表1-6-2 今後の住環境で重視すること（性・年代別）

(%)

	n	住居の広さ	住居設備の充実	家賃の安さ	身近な商店街などの買い物環境	通学先や通勤先への交通アクセス	周辺環境の良さ(緑が豊か、など)	地域コミュニティのつながり、地域活動の活発さ	その他	無回答
全体	1,178	26.0	29.3	28.9	50.8	38.1	54.7	13.2	5.1	2.5
男性計	472	30.1	30.1	26.9	49.2	42.2	55.1	11.0	3.2	1.7
10・20代	46	28.3	26.1	41.3	28.3	52.2	47.8	4.3	4.3	4.3
30代	60	45.0	28.3	46.7	48.3	50.0	45.0	1.7	3.3	-
40代	85	48.2	29.4	37.6	38.8	60.0	44.7	9.4	1.2	-
50代	87	26.4	29.9	18.4	54.0	37.9	62.1	18.4	2.3	-
60代	71	26.8	33.8	19.7	56.3	35.2	54.9	11.3	1.4	1.4
70代	68	13.2	29.4	17.6	58.8	29.4	60.3	17.6	7.4	4.4
80代以上	55	18.2	32.7	10.9	54.5	29.1	70.9	9.1	3.6	3.6
女性計	670	23.6	28.8	30.7	52.5	36.4	54.2	14.2	6.1	2.8
10・20代	48	29.2	37.5	54.2	47.9	56.3	41.7	-	-	-
30代	92	41.3	27.2	39.1	52.2	58.7	48.9	3.3	6.5	1.1
40代	140	35.0	21.4	32.1	56.4	48.6	52.9	11.4	4.3	1.4
50代	134	20.9	33.6	35.8	56.0	42.5	55.2	14.2	8.2	0.7
60代	92	14.1	28.3	21.7	56.5	18.5	63.0	23.9	7.6	1.1
70代	96	10.4	33.3	18.8	46.9	14.6	62.5	22.9	5.2	6.3
80代以上	68	8.8	25.0	19.1	44.1	10.3	47.1	19.1	8.8	11.8

④世帯構成別

「通学先や通勤先への交通アクセス」は二世世代家族（47.6%）で高く、「家賃の安さ」は一人暮らし（36.7%）で高くなっている。三世世代家族は「周辺環境の良さ」（62.8%）、「身近な商店街などの買い物環境」（60.5%）などが高くなっている。

表1-6-3 今後の住環境で重視すること（世帯構成別）

(%)

	n	住居の広さ	住居設備の充実	家賃の安さ	身近な商店街などの買い物環境	通学先や通勤先への交通アクセス	周辺環境の良さ(緑が豊か、など)	地域コミュニティのつながり、地域活動の活発さ	その他	無回答
全体	1,178	26.0	29.3	28.9	50.8	38.1	54.7	13.2	5.1	2.5
一人暮らし	381	25.7	29.4	36.7	49.9	36.0	51.7	11.8	4.5	2.4
夫婦のみ	262	23.7	30.2	24.0	55.7	30.2	58.0	15.3	3.8	2.7
二世世代家族(親と子ども)	410	29.5	27.3	26.8	49.3	47.6	55.1	13.2	5.4	1.5
三世世代家族(親と子どもと孫)	43	23.3	34.9	18.6	60.5	37.2	62.8	9.3	9.3	2.3
その他	44	20.5	38.6	27.3	50.0	31.8	50.0	9.1	11.4	4.5

2 暮らし向き・仕事

(1) 暮らし向きの変化

問6 あなたの暮らし向き（経済状況）は、昨年の今ごろと比べてどうですか。
（あてはまるもの1つに○）

①全体

「変わらない」が60.0%で最も高くなっている。「非常に苦しくなった（6.0%）」と「苦しくなった（29.5%）」を合わせた『苦しくなった』は35.6%である。

暮らし向きの変化の推移をみると、『苦しくなった』は平成21年以降減少傾向にあったが、令和5年は増加し、「変わらない」が減少している。

図2-1-1 暮らし向きの変化（全体）

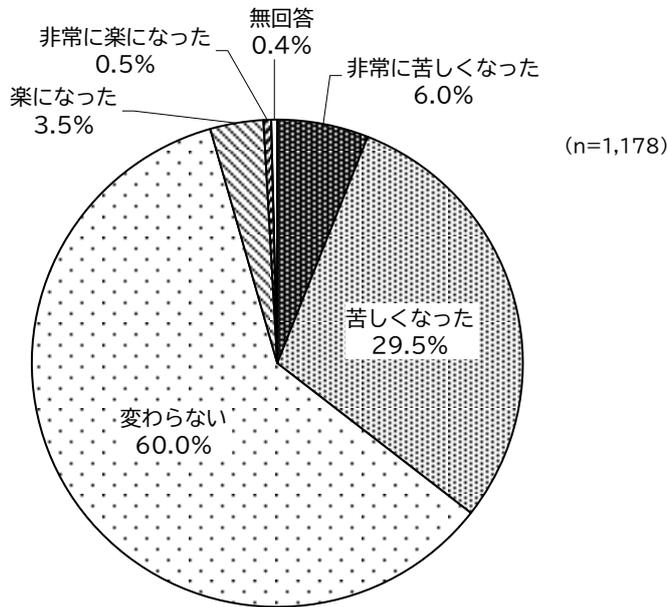
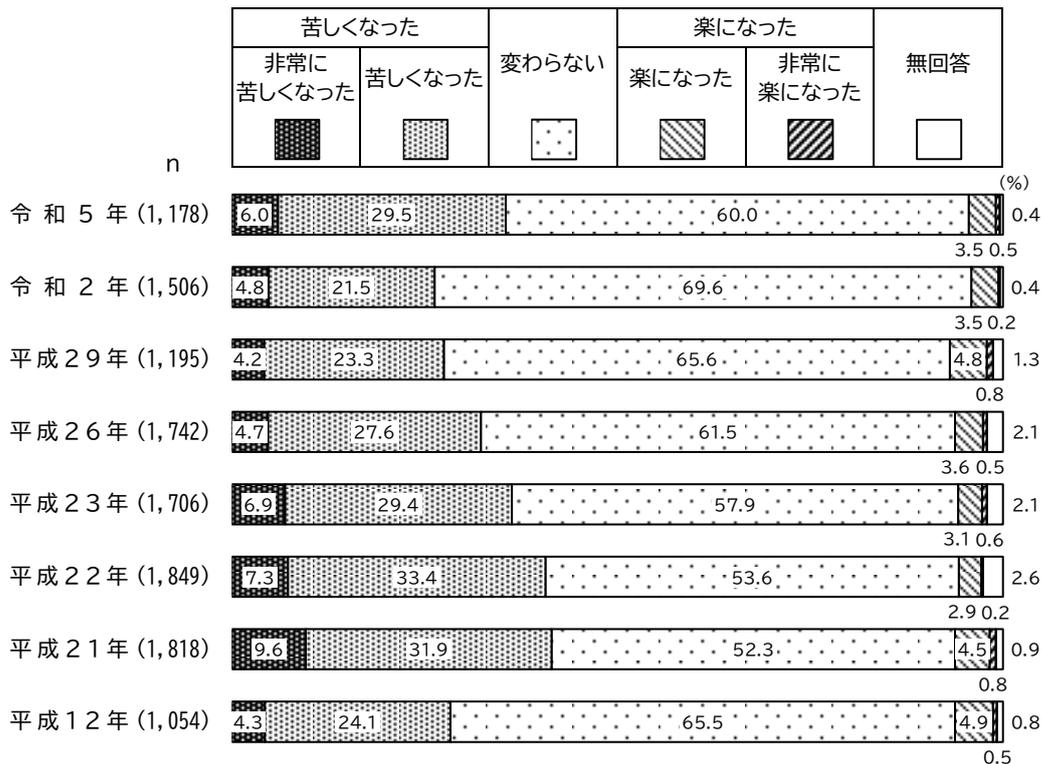


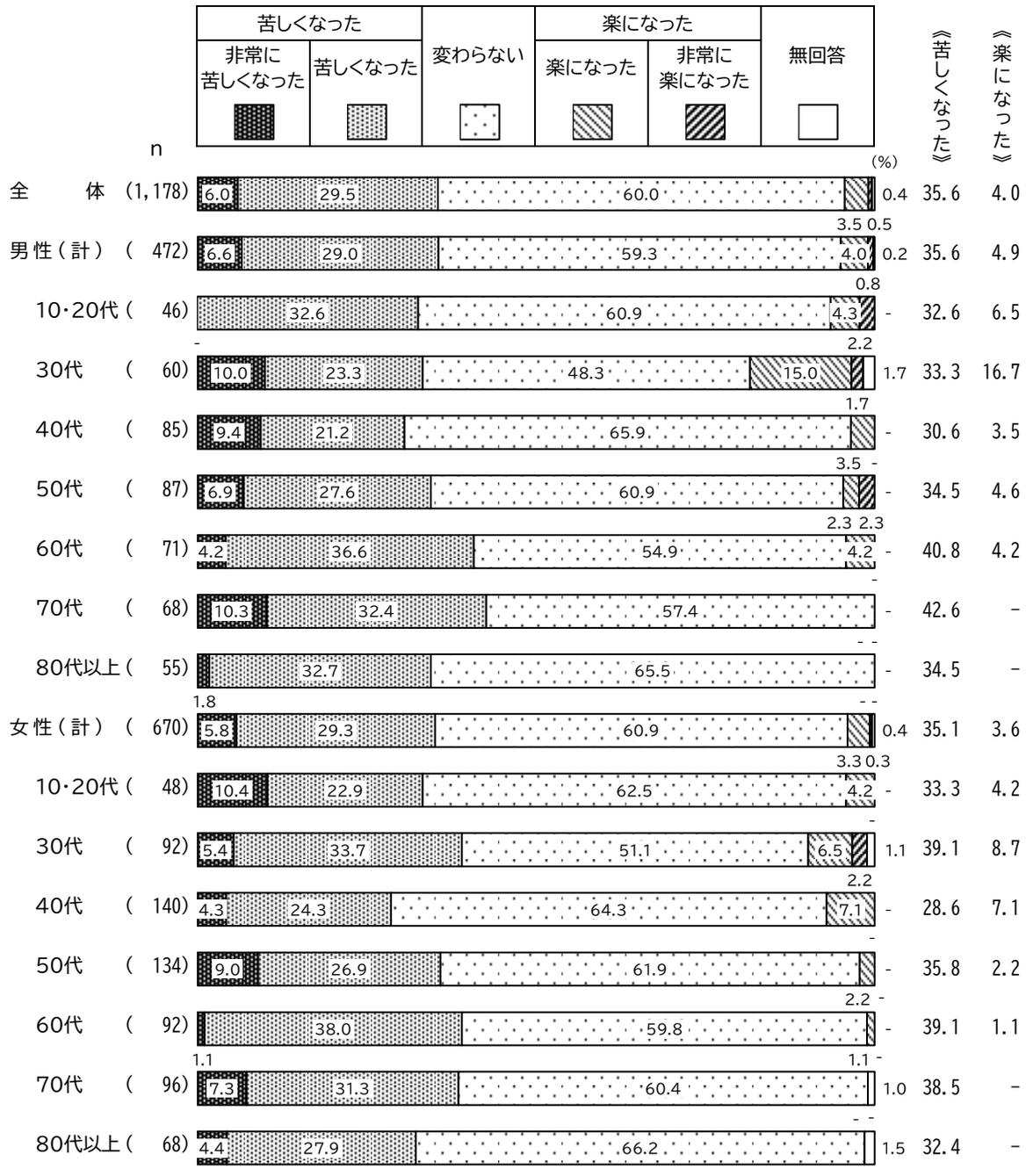
図2-1-2 暮らし向きの変化の推移（全体）



②性・年代別

『苦しくなった』は男性の60～70代、女性の30代と60～70代で4割前後となっている。一方、『楽になった』は男性の30代（16.7%）が他の性・年代より高くなっている。「変わらない」は男女とも40代と80代以上が6割台半ばとなっている。

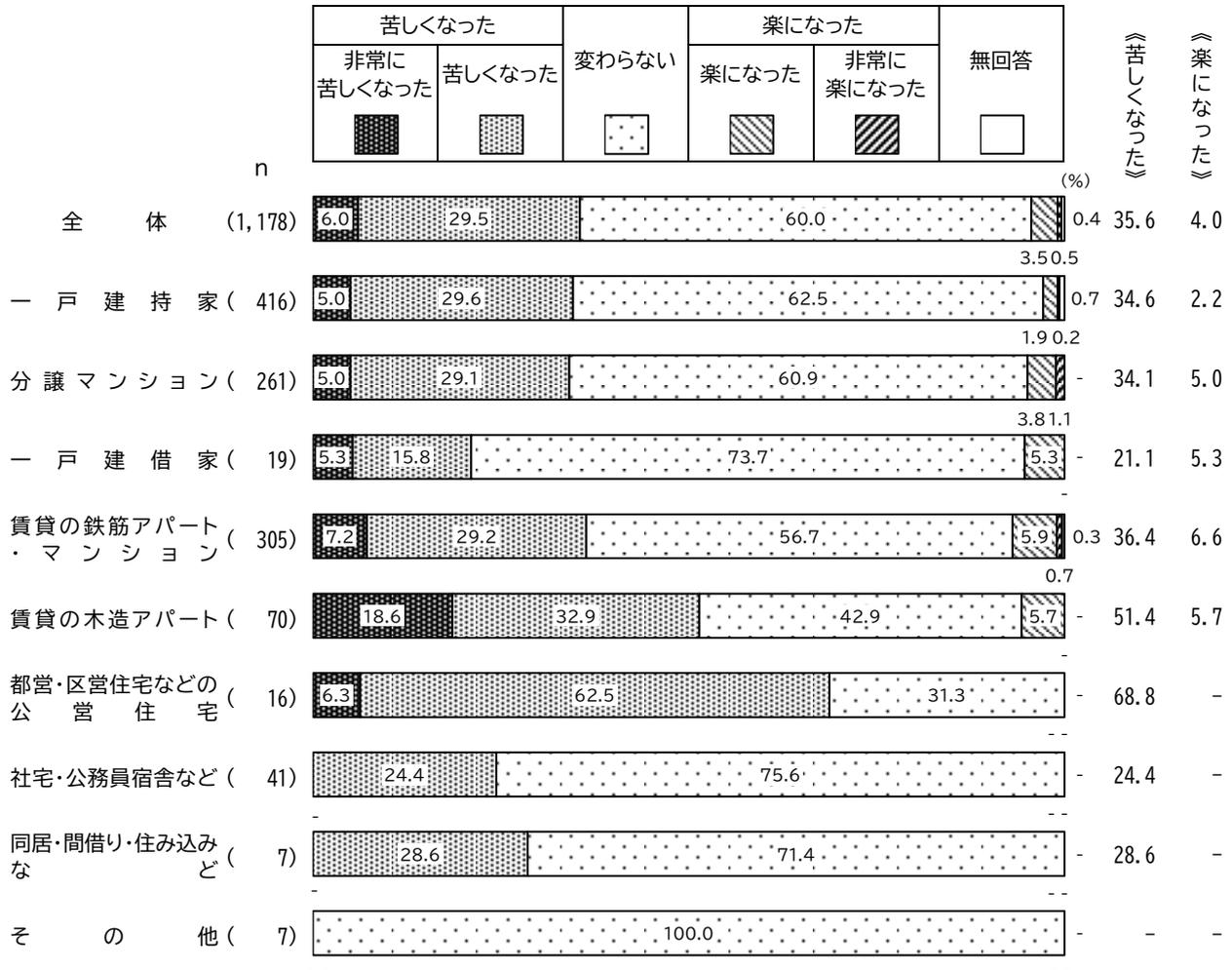
図2-1-3 暮らし向きの変化（性・年代別）



③居住形態別

賃貸の木造アパートは「非常に苦しくなった」(18.6%)が他の居住形態より高く、『苦しくなった』(51.4%)も5割を超えている。

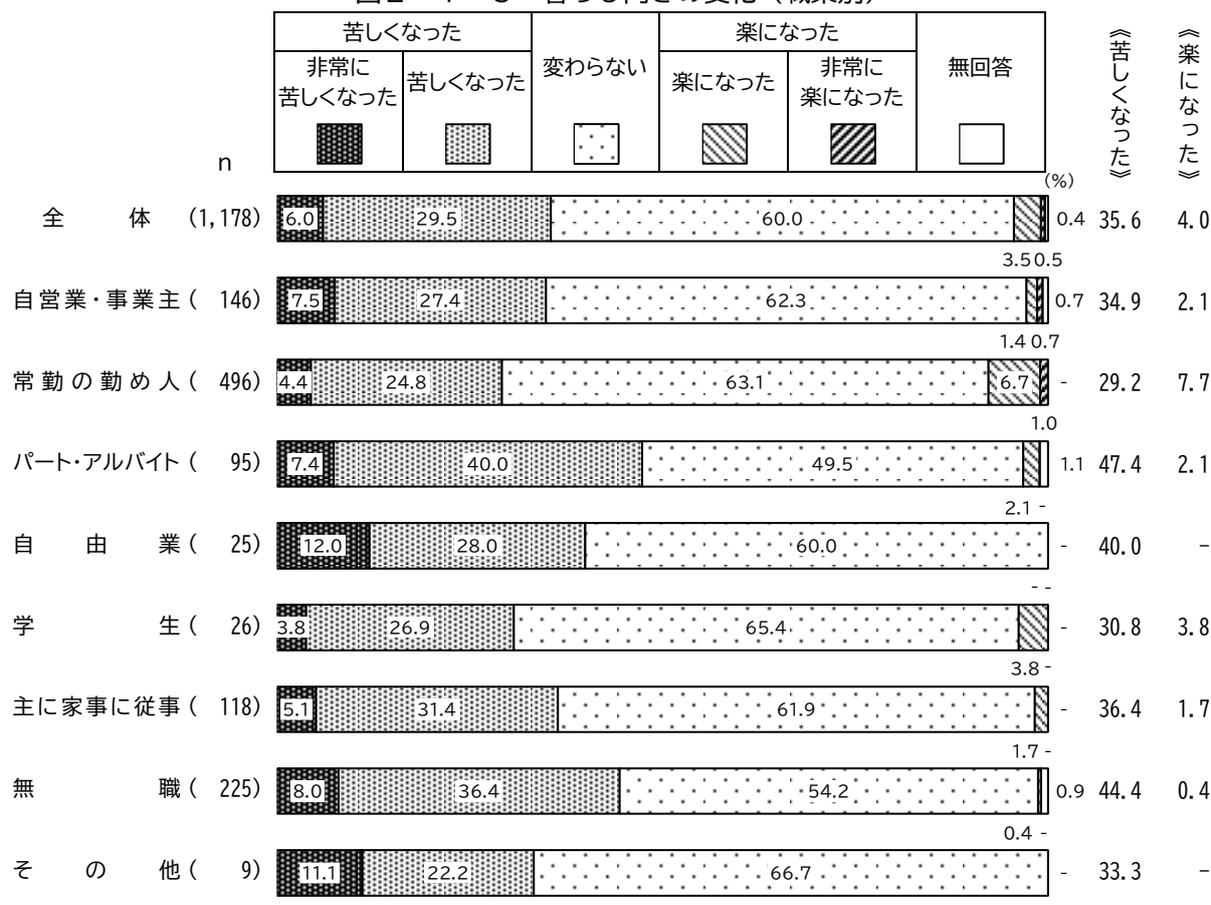
図2-1-4 暮らし向きの変化(居住形態別)



④職業別

『苦しくなった』はパート・アルバイト（47.4%）と無職（44.4%）が4割を超えている。

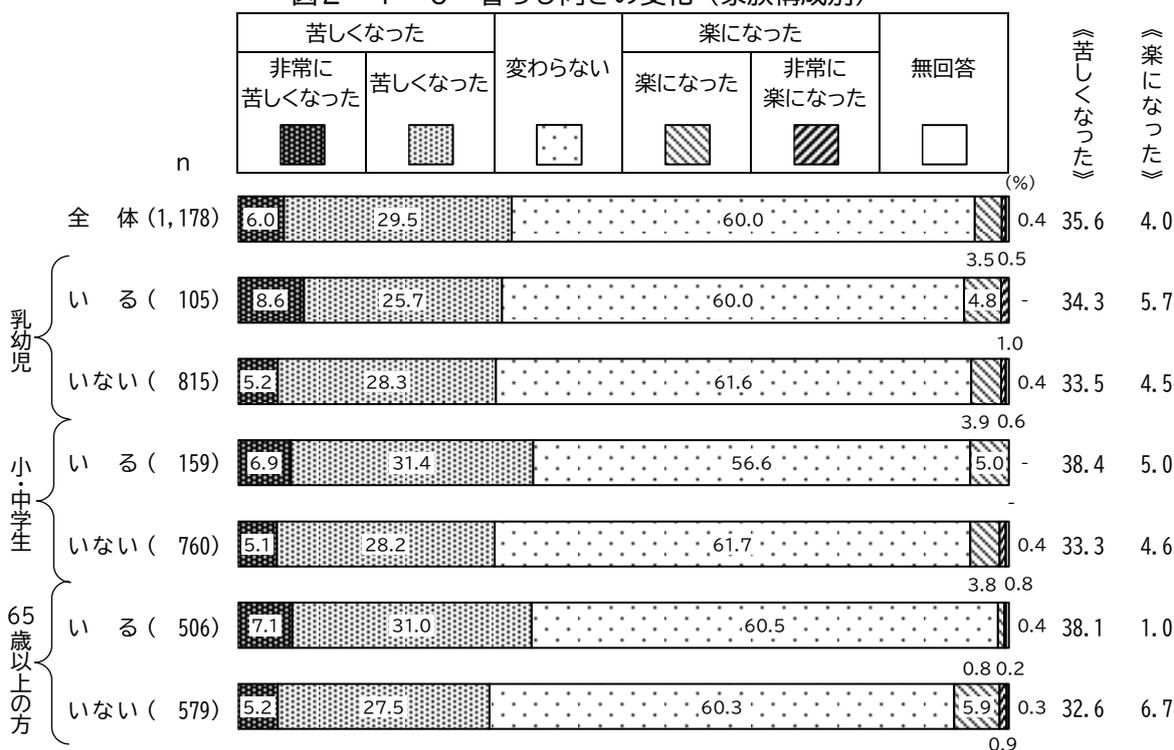
図2-1-5 暮らし向きの変化（職業別）



⑤家族構成別

『苦しくなった』は小・中学生がいる家族（38.4%）、65歳以上の方がいる家族（38.1%）で高くなっている。

図2-1-6 暮らし向きの変化（家族構成別）



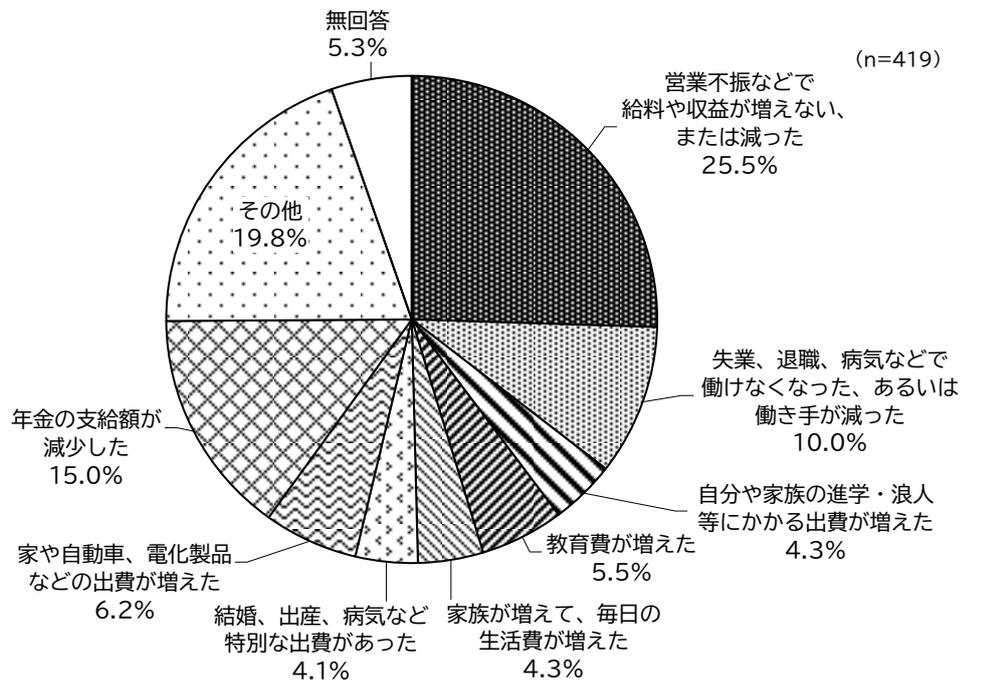
(2) 暮らし向きが苦しくなった理由

(問6で「非常に苦しくなった」「苦しくなった」のいずれかに回答した方にお尋ねします。)
問6-1 暮らし向きが苦しくなったのは、主にどのような理由からですか。
(あてはまるもの1つに○)

①全体

「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った」が25.5%で最も高く、次いで、「その他(19.8%)」、「年金の支給額が減少した(15.0%)」となっている。

図2-2-1 暮らし向きが苦しくなった理由(全体)



その他の内容
(一部抜粋、編集)

物価・光熱費の高騰／医療費・保険料が高い／住民税・税金が高い／家賃が高い／親の介護

②性別

「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った」は男性（28.0%）がやや高いものの、全体的に男女による差はあまり見られない。

表2-2-1 暮らし向きが苦しくなった理由（性別）

		営業不振 などで給 料や収益 が増えな い、または 減った	失業、退 職、病気な どで働け なくなっ た、ある いは働き 手が減っ た	自分や家 族の進学・ 浪人等に かかる出 費が増え た	教育費が 増えた	家族が増 えて、毎日 の生活費 が増えた	結婚、出 産、病気な ど特別な 出費があ った	家や自動 車、電化製 品などの 出費が増 えた	年金の支 給額が減 少した	その他	無回答
	n										
全 体	419	25.5	10.0	4.3	5.5	4.3	4.1	6.2	15.0	19.8	5.3
男 性	168	28.0	8.9	3.0	6.5	4.2	4.2	7.7	16.1	18.5	3.0
女 性	235	24.3	10.2	5.5	5.1	4.7	4.3	4.7	14.0	21.3	6.0

③年代別

「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った」は30～60代が3割台で高くなっている。「年金の支給額が減少した」は60代以上で高くなっている。40代は「教育費が増えた」（21.2%）と「自分や家族の進学・浪人等にかかる出費が増えた」（13.6%）が他の年代より高くなっている。

表2-2-2 暮らし向きが苦しくなった理由（年代別）

		営業不振 などで給 料や収益 が増えな い、または 減った	失業、退 職、病気な どで働け なくなっ た、ある いは働き 手が減っ た	自分や家 族の進学・ 浪人等に かかる出 費が増え た	教育費が 増えた	家族が増 えて、毎日 の生活費 が増えた	結婚、出 産、病気な ど特別な 出費があ った	家や自動 車、電化製 品などの 出費が増 えた	年金の支 給額が減 少した	その他	無回答
	n										
全 体	419	25.5	10.0	4.3	5.5	4.3	4.1	6.2	15.0	19.8	5.3
10・20代	31	25.8	9.7	3.2	-	12.9	12.9	12.9	-	22.6	-
30代	56	30.4	8.9	5.4	5.4	14.3	10.7	7.1	1.8	14.3	1.8
40代	66	34.8	6.1	13.6	21.2	4.5	1.5	7.6	-	10.6	-
50代	78	35.9	7.7	5.1	7.7	2.6	2.6	3.8	-	30.8	3.8
60代	65	33.8	20.0	-	-	-	1.5	3.1	20.0	18.5	3.1
70代	68	10.3	11.8	1.5	-	-	4.4	2.9	33.8	25.0	10.3
80代以上	43	-	-	-	-	2.3	-	9.3	55.8	16.3	16.3

④職業別

「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った」は自営業・事業主（60.8%）で高く、「年金の支給額が減少した」は無職（44.0%）で高くなっている。

表2-2-3 暮らし向きが苦しくなった理由（職業別）

		(%)									
	n	営業不振などで給料や収益が増えない、または減った	失業、退職、病気などで働けなくなった、あるいは働き手が減った	自分や家族の進学・浪人等にかかる出費が増えた	教育費が増えた	家族が増えて、毎日の生活費が増えた	結婚、出産、病気など特別な出費があった	家や自動車、電化製品などの出費が増えた	年金の支給額が減少した	その他	無回答
全体	419	25.5	10.0	4.3	5.5	4.3	4.1	6.2	15.0	19.8	5.3
自営業・事業主	51	60.8	9.8	5.9	5.9	2.0	2.0	-	-	9.8	3.9
常勤の勤め人	145	32.4	4.1	4.1	9.7	8.3	6.2	10.3	0.7	22.8	1.4
パート・アルバイト	45	33.3	15.6	8.9	2.2	4.4	4.4	4.4	8.9	6.7	11.1
自由業	10	60.0	-	-	-	-	-	10.0	20.0	10.0	-
学生	8	12.5	25.0	-	-	12.5	12.5	-	-	25.0	12.5
主に家事に従事	43	9.3	7.0	11.6	11.6	2.3	4.7	-	18.6	25.6	9.3
無職	100	1.0	16.0	-	-	1.0	2.0	6.0	44.0	25.0	5.0
その他	3	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-

⑤家族構成別

「家族が増えて、毎日の生活費が増えた」は乳幼児がいる家族（36.1%）が高く、「教育費が増えた」は小・中学生がいる家族（26.2%）、「年金の支給額が減少した」は65歳以上の方がいる家族（30.6%）で高くなっている。

表2-2-4 暮らし向きが苦しくなった理由（家族構成別）

		(%)										
	n	営業不振などで給料や収益が増えない、または減った	失業、退職、病気などで働けなくなった、あるいは働き手が減った	自分や家族の進学・浪人等にかかる出費が増えた	教育費が増えた	家族が増えて、毎日の生活費が増えた	結婚、出産、病気など特別な出費があった	家や自動車、電化製品などの出費が増えた	年金の支給額が減少した	その他	無回答	
全体	419	25.5	10.0	4.3	5.5	4.3	4.1	6.2	15.0	19.8	5.3	
乳幼児	いる	36	19.4	2.8	2.8	16.7	36.1	11.1	2.8	-	2.8	5.6
	いない	273	28.6	11.7	4.8	5.1	1.1	4.0	6.2	10.6	24.9	2.9
小・中学生	いる	61	21.3	1.6	13.1	26.2	3.3	3.3	6.6	3.3	14.8	6.6
	いない	253	28.1	12.6	3.2	2.8	5.1	5.1	5.5	10.7	24.5	2.4
65歳以上の方	いる	193	18.1	9.8	2.6	-	1.0	3.1	4.1	30.6	22.3	8.3
	いない	189	31.2	10.6	5.3	10.1	7.9	5.8	7.9	1.1	18.5	1.6

3 防災

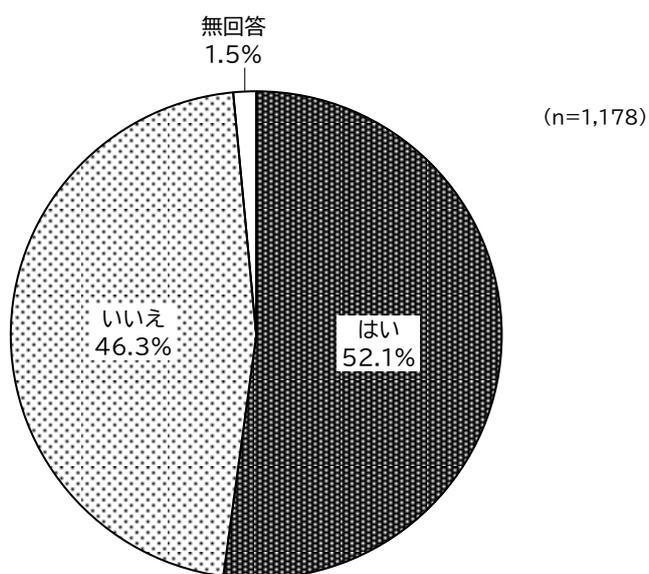
(1) 在宅避難の認知度

問7 在宅避難という言葉を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

①全体

「はい」が52.1%、「いいえ」が46.3%となっている。

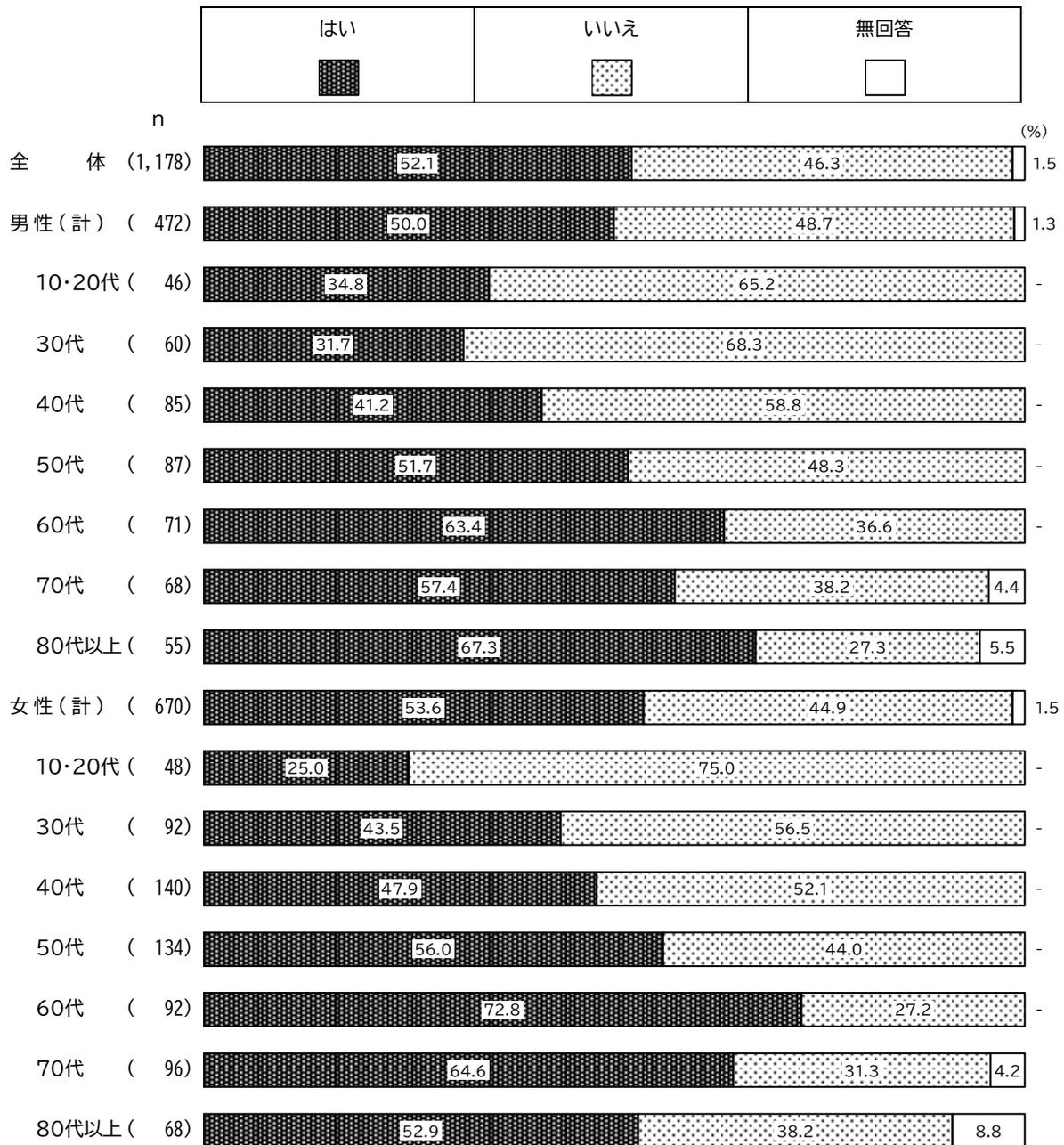
図3-1-1 在宅避難の認知度(全体)



②性・年代別

「はい」は男性の30代以下と女性の10・20代が4割未満と低く、男女とも50代以上は5割を超えている。

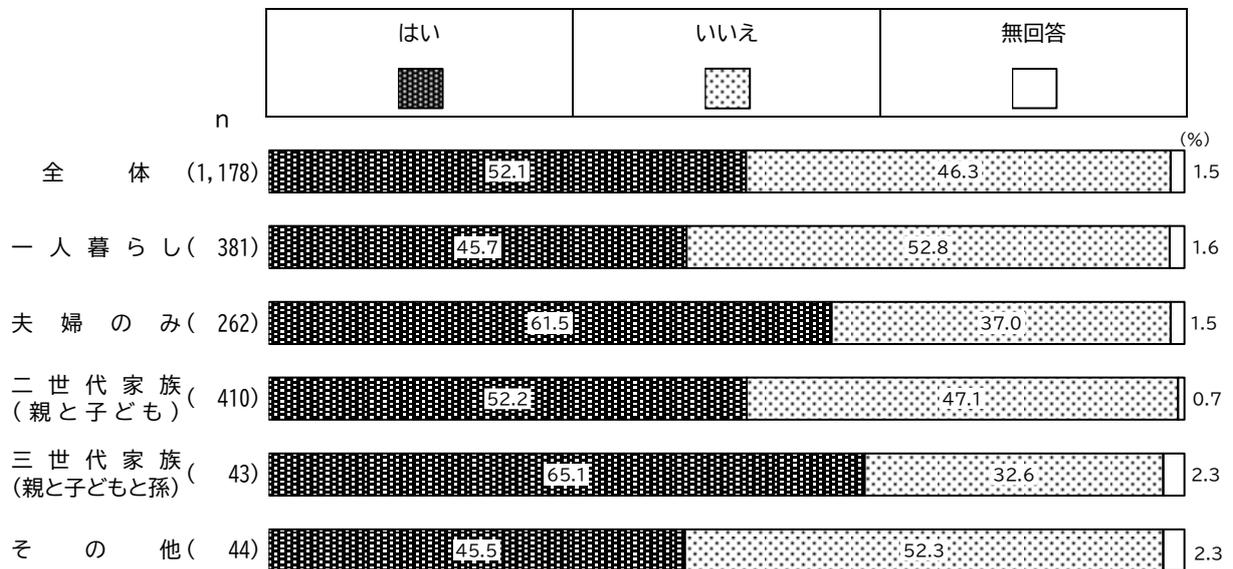
図3-1-2 在宅避難の認知度（性・年代別）



③世帯構成別

「はい」は三世代家族（65.1%）や夫婦のみ（61.5%）の世帯で高く、一人暮らし（45.7%）やその他（45.5%）で低くなっている。

図3-1-3 在宅避難の認知度（世帯構成別）



(2) 在宅避難のために行っていること

(問7で「はい」と回答した方にお尋ねします。)

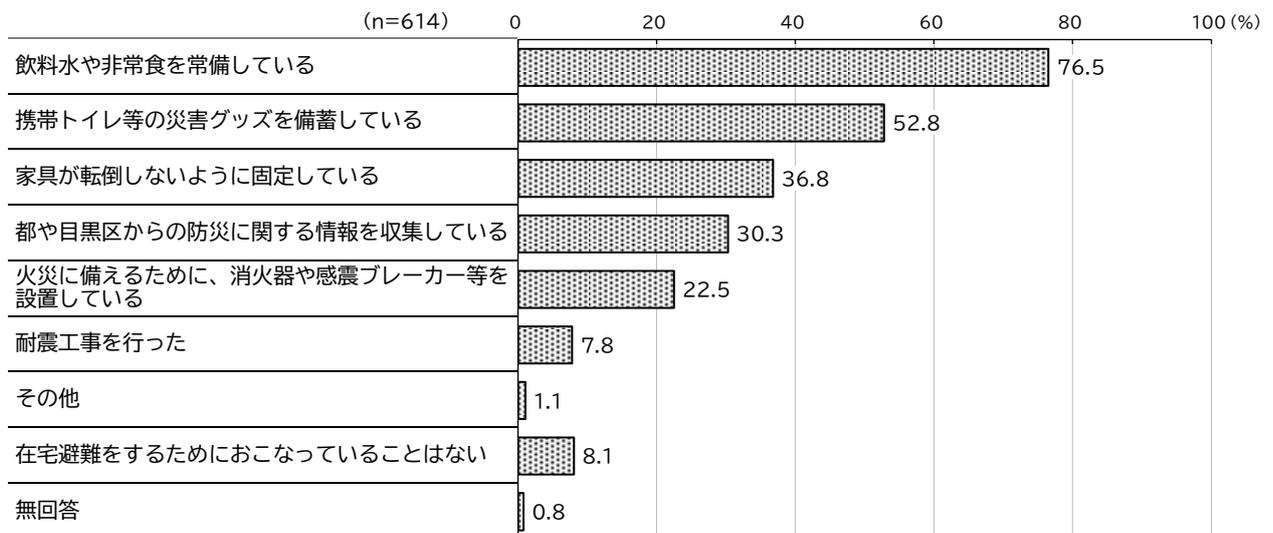
問7-1 在宅避難をするためにおこなっていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

①全体

「飲料水や非常食を常備している」が76.5%で最も高く、次いで、「携帯トイレ等の災害グッズを備蓄している(52.8%)」、「家具が転倒しないように固定している(36.8%)」となっている。

図3-2-1 在宅避難のために行っていること(全体)



②性別

男女差が大きい項目は、「家具が転倒しないように固定している」と「火災に備えるために、消火器や感震ブレーカー等を設置している」は男性の方が女性より高く、「飲料水や非常食を常備している」と「携帯トイレ等の災害グッズを備蓄している」は女性の方が高くなっている。

表3-2-1 在宅避難のために行っていること（性別）

(%)

	n	飲料水や非常食を常備している	携帯トイレ等の災害グッズを備蓄している	家具が転倒しないように固定している	都や目黒区からの防災に関する情報を収集している	火災に備えるために、消火器や感震ブレーカー等を設置している	耐震工事を行った	その他	在宅避難をするためにおこなっていることはない	無回答
全体	614	76.5	52.8	36.8	30.3	22.5	7.8	1.1	8.1	0.8
男性	236	72.0	47.5	44.1	29.7	28.8	9.7	1.3	8.1	0.8
女性	359	80.2	57.1	31.5	31.2	19.2	6.7	1.1	7.8	0.8

③年代別

「飲料水や非常食を常備している」はすべての年代で6割を超えている。「携帯トイレ等の災害グッズを備蓄している」は30～50代が6割前後と高く、「都や目黒区からの防災に関する情報を収集している」は50代以上が3割を超えている。

表3-2-2 在宅避難のために行っていること（年代別）

(%)

	n	飲料水や非常食を常備している	携帯トイレ等の災害グッズを備蓄している	家具が転倒しないように固定している	都や目黒区からの防災に関する情報を収集している	火災に備えるために、消火器や感震ブレーカー等を設置している	耐震工事を行った	その他	在宅避難をするためにおこなっていることはない	無回答
全体	614	76.5	52.8	36.8	30.3	22.5	7.8	1.1	8.1	0.8
10・20代	28	71.4	46.4	50.0	28.6	14.3	3.6	-	3.6	-
30代	59	83.1	59.3	33.9	25.4	13.6	-	1.7	8.5	-
40代	102	78.4	60.8	37.3	18.6	15.7	2.0	1.0	6.9	1.0
50代	120	86.7	59.2	31.7	34.2	25.8	8.3	-	5.8	-
60代	112	75.9	50.0	38.4	32.1	24.1	13.4	1.8	9.8	-
70代	102	70.6	48.0	36.3	39.2	24.5	10.8	2.9	8.8	2.0
80代以上	75	66.7	42.7	37.3	30.7	34.7	10.7	-	10.7	2.7

④居住形態別

一戸建持家は賃貸の鉄筋アパート・マンションに比べ「家具が転倒しないように固定している」、「火災に備えるために、消火器や感震ブレーカー等を設置している」、「耐震工事を行った」などの住居に対する対策の割合が全体と比べ高くなっている。

表3-2-3 在宅避難のためにやっていること（居住形態別）

(%)

	n	飲料水や非常食を常備している	携帯トイレ等の災害グッズを備蓄している	家具が転倒しないように固定している	都や目黒区からの防災に関する情報を収集している	火災に備えるために、消火器や感震ブレーカー等を設置している	耐震工事を行った	その他	在宅避難をするためにおこなっていることはない	無回答
全体	614	76.5	52.8	36.8	30.3	22.5	7.8	1.1	8.1	0.8
一戸建持家	259	76.8	52.5	42.1	29.0	28.2	15.8	2.3	7.3	-
分譲マンション	138	81.9	59.4	34.8	35.5	22.5	1.4	0.7	6.5	1.4
一戸建借家	8	87.5	37.5	25.0	-	12.5	-	-	-	-
賃貸の鉄筋アパート・マンション	130	74.6	49.2	29.2	30.0	14.6	3.1	-	11.5	-
賃貸の木造アパート	24	66.7	33.3	29.2	45.8	20.8	-	-	12.5	4.2
都営・区営住宅などの公営住宅	9	33.3	33.3	22.2	33.3	22.2	-	-	11.1	22.2
社宅・公務員宿舎など	21	76.2	66.7	47.6	19.0	19.0	-	-	4.8	-
同居・間借り・住み込みなど	4	75.0	75.0	50.0	-	25.0	-	-	-	-
その他	2	100.0	100.0	-	-	50.0	-	-	-	-

⑤世帯構成別

「携帯トイレ等の災害グッズを備蓄している」や「家具が転倒しないように固定している」は一人暮らしに比べ夫婦のみや二世世代家族の方が高くなっている。

表3-2-4 在宅避難のためにやっていること（世帯構成別）

(%)

	n	飲料水や非常食を常備している	携帯トイレ等の災害グッズを備蓄している	家具が転倒しないように固定している	都や目黒区からの防災に関する情報を収集している	火災に備えるために、消火器や感震ブレーカー等を設置している	耐震工事を行った	その他	在宅避難をするためにおこなっていることはない	無回答
全体	614	76.5	52.8	36.8	30.3	22.5	7.8	1.1	8.1	0.8
一人暮らし	174	74.7	46.6	23.6	32.8	17.2	3.4	1.1	10.9	1.1
夫婦のみ	161	74.5	57.1	44.1	32.9	27.3	9.9	1.2	6.2	1.2
二世世代家族（親と子ども）	214	79.4	59.3	41.6	27.6	21.5	8.4	0.9	7.5	0.5
三世世代家族（親と子どもと孫）	28	89.3	57.1	39.3	14.3	42.9	10.7	3.6	3.6	-
その他	20	65.0	10.0	35.0	45.0	20.0	15.0	-	10.0	-

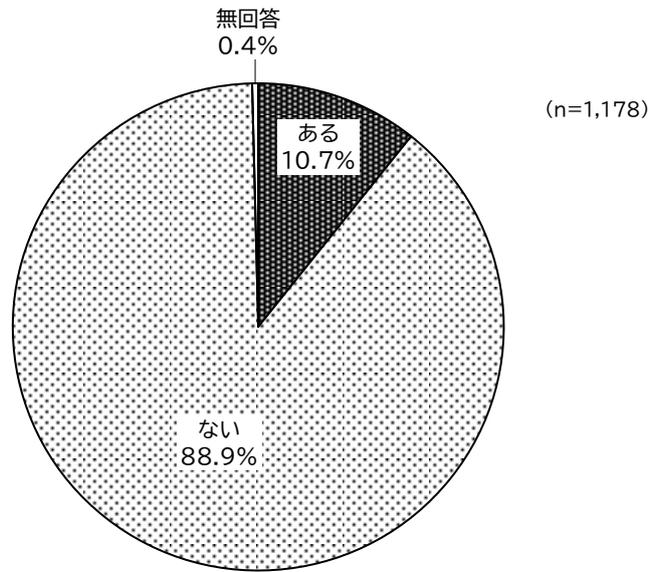
(3) 防災訓練への参加経験の有無

問8 区内で実施されている防災訓練に参加したことがありますか。
(あてはまるもの1つに○)

①全体

「ない」が88.9%、「ある」が10.7%となっている。

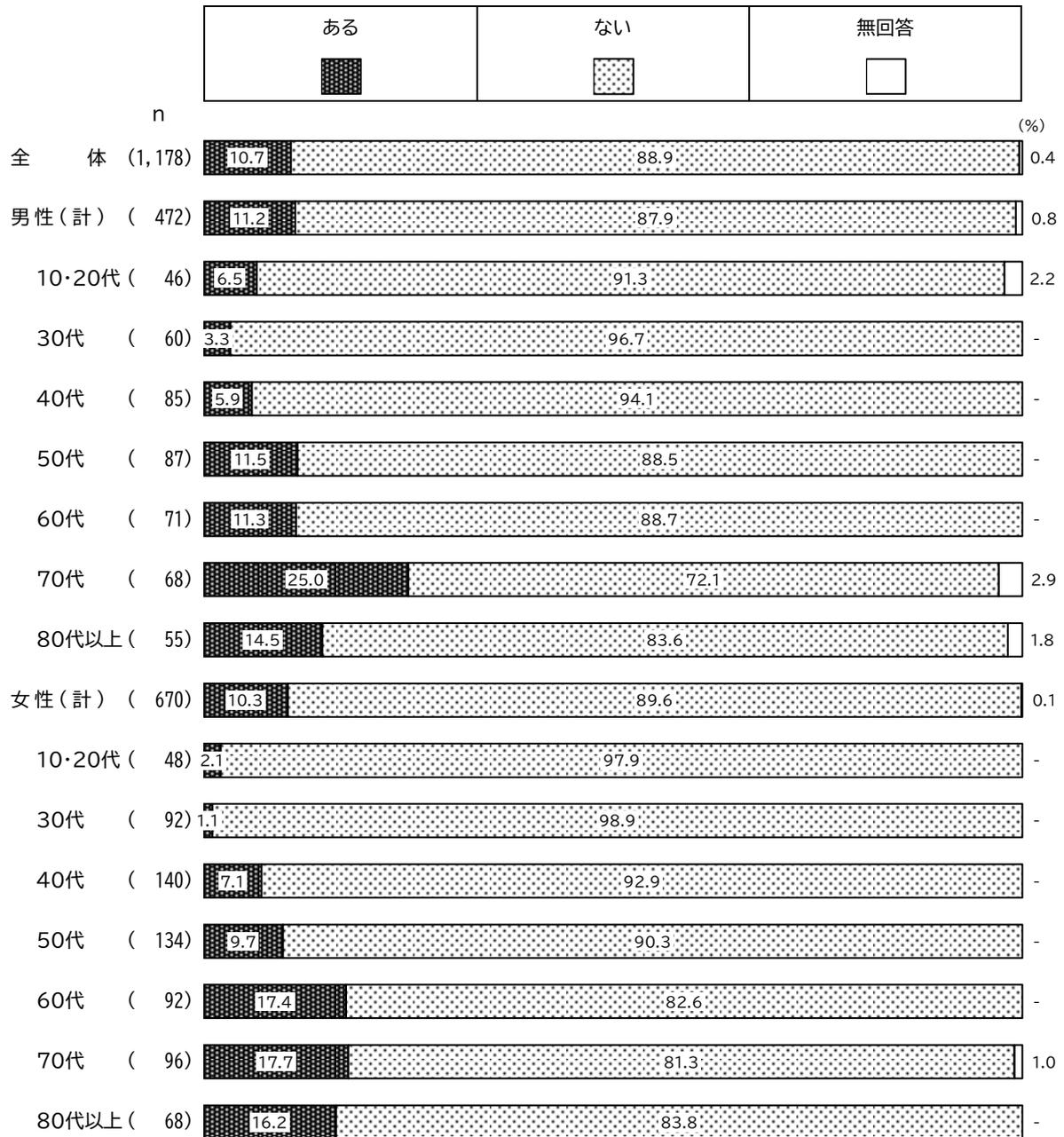
図3-3-1 防災訓練への参加経験の有無（全体）



②性・年代別

「ある」は若年層が低く、高齢者層の方が高い傾向にあり、男性の70代（25.0%）が最も高く、女性の60代以上も1割台後半となっている。

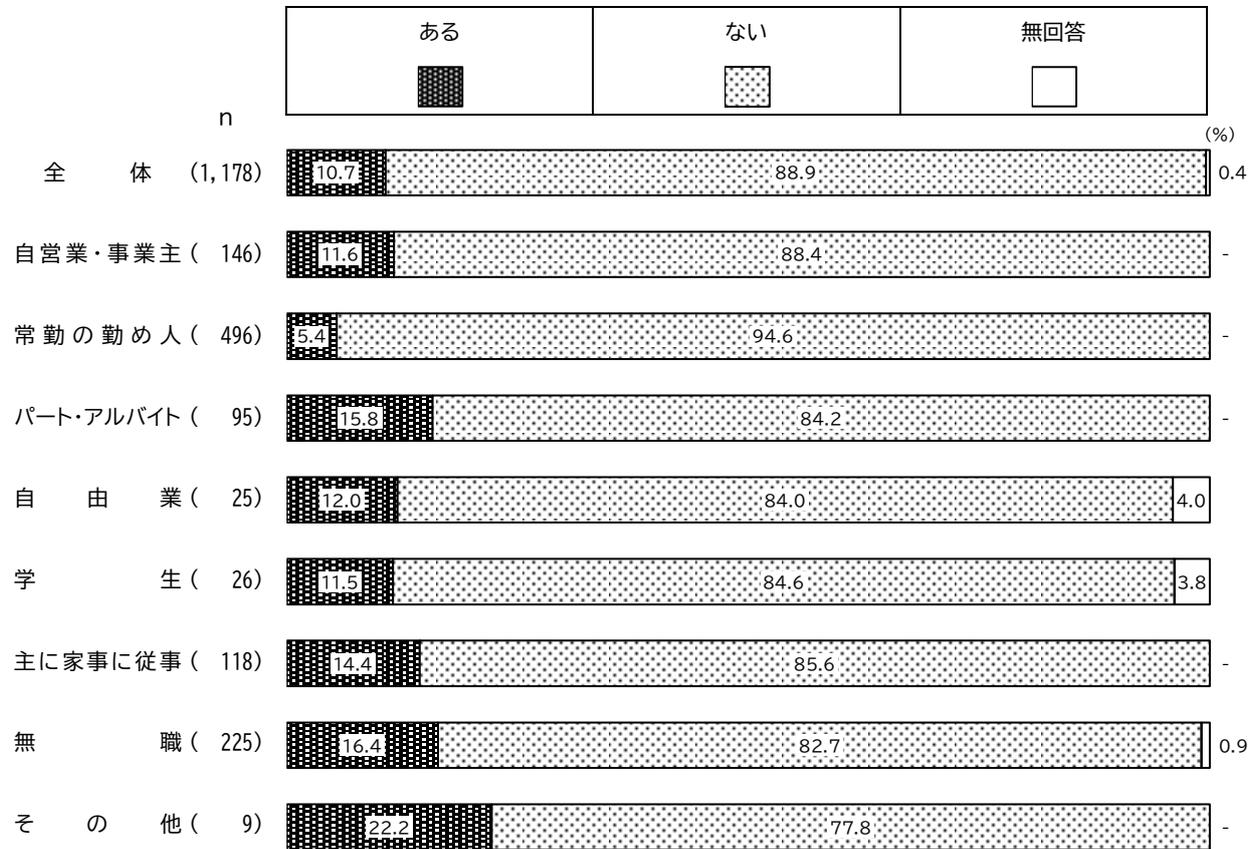
図3-3-2 防災訓練への参加経験の有無（性・年代別）



③職業別

「ある」は「パート・アルバイト」(15.8%)、「主に家事に従事」(14.4%)、「無職」(16.4%)が1割台半ばでやや高く、「常勤の勤め人」(5.4%)は1割未満と低い。

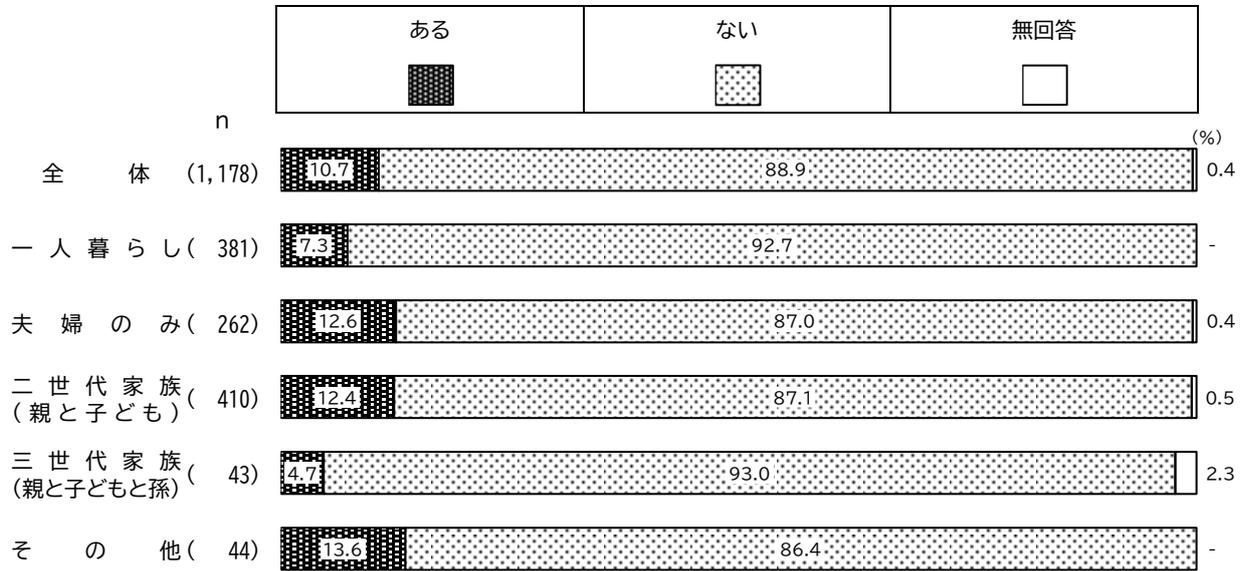
図3-3-3 防災訓練への参加経験の有無(職業別)



④世帯構成別

「ある」は夫婦のみ（12.6%）、二世世代家族（12.4%）、その他（13.6%）で1割を超え、一人暮らし（7.3%）と三世世代家族（4.7%）は1割未満となっている。

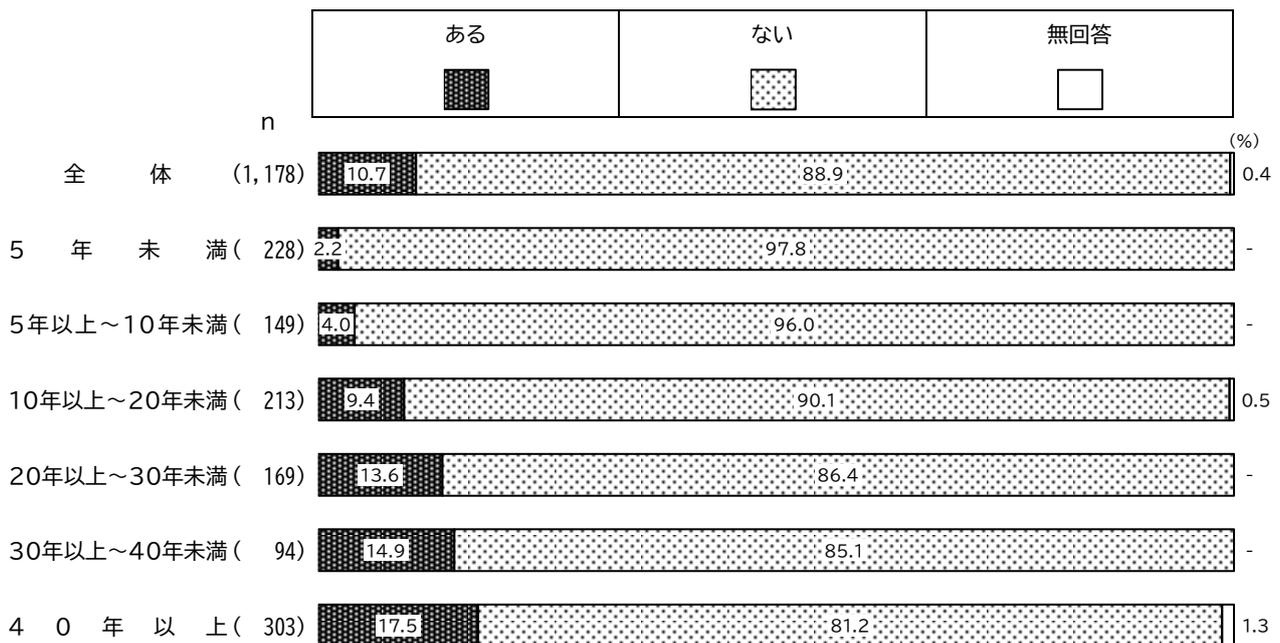
図3-3-4 防災訓練への参加経験の有無（世帯構成別）



⑤居住年数別

居住年数が長いほど「ある」の割合が高くなっており、居住年数20年以上で1割を超えている。

図3-3-5 防災訓練への参加経験の有無（居住年数別）



(4) 防災訓練に参加しない理由

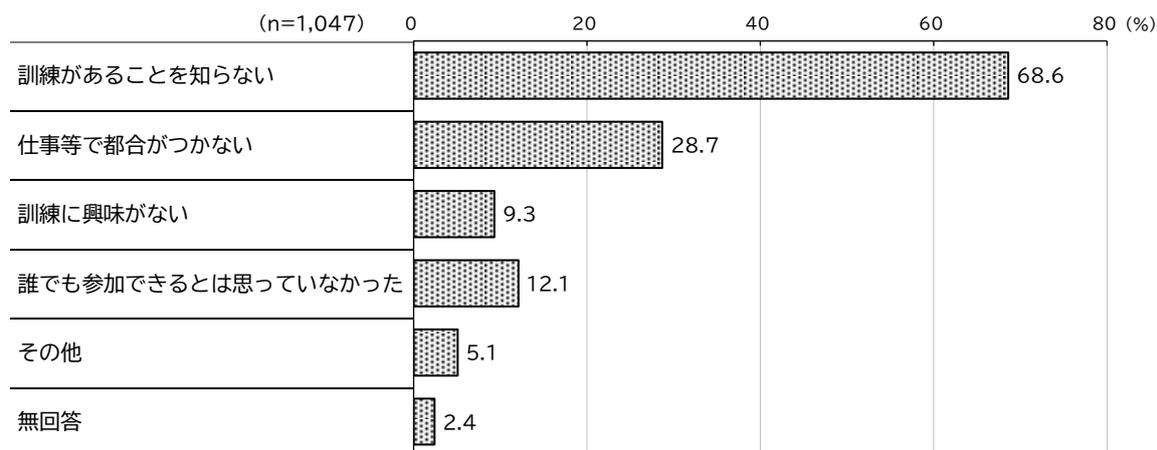
(問8で「ない」と回答した方にお尋ねします。)

問8-1 防災訓練に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

①全体

「訓練があることを知らない」が68.6%で最も高くなっている。次いで、「仕事等で都合がつかない(28.7%)」となっている。

図3-4-1 防災訓練に参加しない理由(全体)



②性・年代別

「訓練があることを知らない」は女性の80代以上（35.1%）を除くすべての性・年代で5割を超えている。「仕事等で都合がつかない」は男女とも50代が4割台、60代が3割台半ばとなっている。「誰でも参加できるとは思っていなかった」は女性の50代（19.8%）がやや高く、「訓練に興味がない」は男性の40～60代がやや高くなっている。

表3-4-1 防災訓練に参加しない理由（性・年代別）

		(%)					
	n	訓練があることを知らない	仕事等で都合がつかない	訓練に興味がない	誰でも参加できるとは思っていなかった	その他	無回答
全体	1,047	68.6	28.7	9.3	12.1	5.1	2.4
男性計	415	69.2	29.4	13.3	9.9	3.9	1.4
10・20代	42	73.8	26.2	9.5	7.1	-	-
30代	58	79.3	31.0	12.1	6.9	-	-
40代	80	72.5	28.8	15.0	5.0	1.3	-
50代	77	70.1	44.2	16.9	10.4	1.3	-
60代	63	58.7	36.5	17.5	15.9	1.6	-
70代	49	67.3	18.4	10.2	10.2	8.2	6.1
80代以上	46	60.9	8.7	6.5	15.2	19.6	6.5
女性計	600	68.5	28.2	6.3	13.3	5.5	3.0
10・20代	47	78.7	23.4	2.1	6.4	4.3	2.1
30代	91	81.3	23.1	9.9	12.1	-	-
40代	130	77.7	30.0	5.4	10.0	-	0.8
50代	121	68.6	43.0	4.1	19.8	5.0	0.8
60代	76	61.8	34.2	5.3	15.8	2.6	-
70代	78	62.8	20.5	10.3	12.8	9.0	5.1
80代以上	57	35.1	7.0	7.0	12.3	28.1	19.3

③世帯構成別

「訓練があることを知らない」はすべての世帯構成で6割を超えている。「誰でも参加できるとは思っていなかった」は夫婦のみ（16.7%）とその他（18.4%）がやや高くなっている。

表3-4-2 防災訓練に参加しない理由（世帯構成別）

		(%)					
	n	訓練があることを知らない	仕事等で都合がつかない	訓練に興味がない	誰でも参加できるとは思っていなかった	その他	無回答
全体	1,047	68.6	28.7	9.3	12.1	5.1	2.4
一人暮らし	353	71.7	28.9	7.6	10.2	5.4	2.5
夫婦のみ	228	64.0	25.9	8.8	16.7	7.0	2.6
二世帯家族 (親と子ども)	357	69.2	32.2	10.9	10.6	2.5	2.0
三世帯家族 (親と子どもと孫)	40	65.0	30.0	12.5	10.0	10.0	-
その他	38	68.4	15.8	7.9	18.4	5.3	-

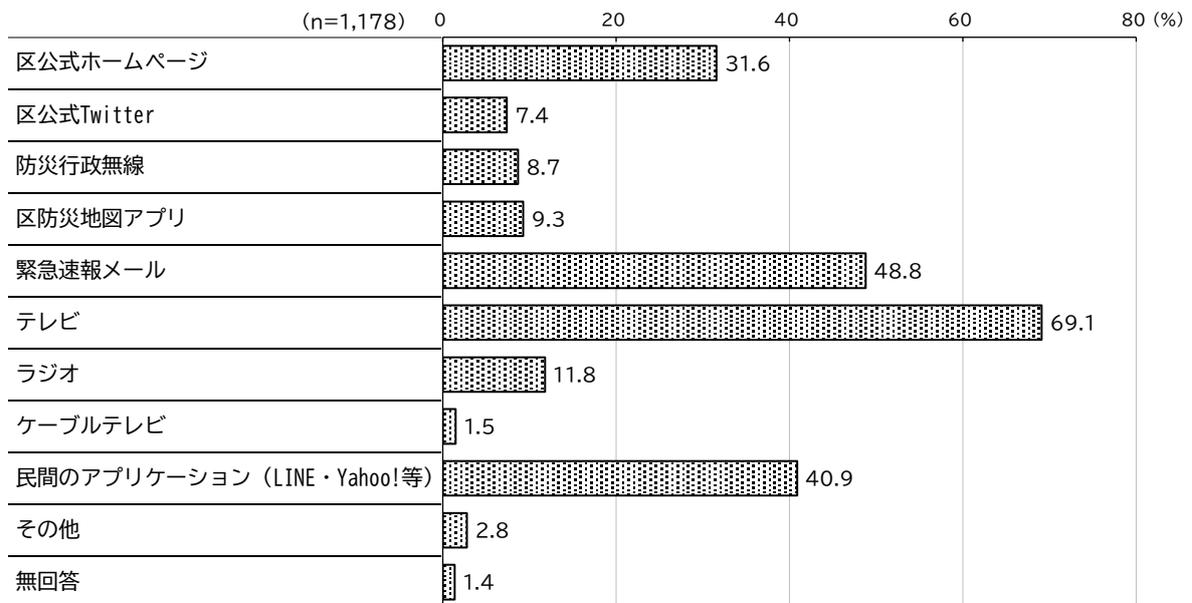
(5) 災害情報収集の手段

問9 あなたが災害情報を収集する手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

①全体

「テレビ」が69.1%で最も高く、次いで、「緊急速報メール(48.8%)」、「民間のアプリケーション(LINE・Yahoo!等)(40.9%)」、「区公式ホームページ(31.6%)」となっている。

図3-5-1 災害情報収集の手段(全体)



②性・年代別

「テレビ」は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、男性は70代以上、女性は50代以上で7割を超えている。一方、「民間のアプリケーション」は男女とも50代以下で5割弱～6割台半ばとなっている。「区公式ホームページ」は女性の40～60代で4割を超え、「区公式Twitter」は女性の30代が2割を超えている。「緊急速報メール」は男性の30代、女性の10・20代と80代以上が4割未満で他の年代よりやや低くなっている。

表3-5-1 災害情報収集の手段（性・年代別）

(%)

	n	区公式 ホーム ページ	区公式 Twitter	防災行政 無線	区防災地 図アプリ	緊急速報 メール	テレビ	ラジオ	ケーブル テレビ	民間のア プリーケ ション (LINE・ Yahoo! 等)	その他	無回答
全 体	1,178	31.6	7.4	8.7	9.3	48.8	69.1	11.8	1.5	40.9	2.8	1.4
男性 計	472	27.5	6.1	8.3	8.1	48.3	69.7	11.7	3.2	39.2	2.8	0.8
10・20代	46	26.1	13.0	13.0	8.7	47.8	47.8	6.5	-	52.2	-	2.2
30代	60	16.7	16.7	1.7	6.7	36.7	63.3	5.0	-	48.3	5.0	-
40代	85	29.4	7.1	7.1	9.4	62.4	64.7	12.9	-	54.1	4.7	1.2
50代	87	26.4	6.9	10.3	4.6	44.8	65.5	9.2	2.3	51.7	3.4	-
60代	71	32.4	1.4	8.5	9.9	50.7	69.0	18.3	-	33.8	2.8	1.4
70代	68	36.8	-	8.8	10.3	48.5	77.9	17.6	11.8	20.6	1.5	1.5
80代以上	55	21.8	-	9.1	7.3	41.8	100.0	9.1	9.1	5.5	-	-
女性 計	670	34.5	8.2	9.1	10.0	49.7	68.8	11.6	0.4	43.1	3.0	1.5
10・20代	48	22.9	12.5	-	4.2	29.2	47.9	6.3	-	56.3	-	2.1
30代	92	21.7	23.9	8.7	6.5	52.2	59.8	3.3	-	67.4	1.1	-
40代	140	45.0	8.6	10.0	10.0	55.0	57.1	7.1	-	53.6	2.1	-
50代	134	41.0	6.0	12.7	5.2	56.7	75.4	9.7	-	51.5	3.0	0.7
60代	92	44.6	5.4	7.6	13.0	47.8	76.1	16.3	1.1	39.1	5.4	1.1
70代	96	31.3	2.1	8.3	15.6	52.1	77.1	19.8	1.0	18.8	2.1	5.2
80代以上	68	16.2	-	10.3	16.2	35.3	85.3	22.1	1.5	2.9	7.4	2.9